

会計名			市民講座開設等事業			担当部	教育部		
一般会計						担当課	生涯学習課		
款	項	目				担当係	推進係		
10	5	1							
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	教育文化						
		基本施策	生涯学習・青少年育成						
		施策の内容	学習機会の充実						
	目的	各生涯学習センター（中央・南部・北部）において、各種市民向け講座を行い、市民の学習意欲の向上や学習活動への参加促進を図る。				主たる内容	○市民講座の開催 ・連続講座 ・1DAY講座 ○大学連携講座（愛知教育大学、名城大学、至学館大学、愛知工業大学）の開催 ○科学振興に関する講座等の開催 ※大学連携講座は市民講座開設等事業（総合文化センター費）から移行		
		位置づけ							
		関連計画	刈谷市生涯学習推進計画						
		根拠法令							
	対象者	市内在住・在勤または在学の人など				事業期間	～		
	実施方法	□直営 ■委託 □指定管理 □補助・助成 □その他							
	BDO 事業実績 計画 実施 V	5年度実績		6年度実績		7年度実績		8年度計画	
・南部生涯学習センター市民講座 16講座158人受講 ・北部生涯学習センター市民講座 20講座178人受講 ・南部生涯学習センター1DAY講座 5講座68人受講 ・北部生涯学習センター1DAY講座 5講座56人受講		・生涯学習センター市民講座 南部 16講座140人受講 北部 20講座185人受講 ・生涯学習センター1DAY講座 南部 6講座113人受講 北部 6講座65人受講 ・加藤与五郎博士顕彰講座 中央 1講座33人受講		・生涯学習センター市民講座 南部 16講座198人受講 北部 20講座184人受講 ・生涯学習センター1DAY講座 南部 8講座124人受講 北部 8講座121人受講 ・加藤与五郎博士顕彰講座 中央 1講座19人受講 ・大学連携講座（3校） 中央 9講座215人受講		・生涯学習センター市民講座 南部及び北部 36講座 ・生涯学習センター1DAY講座 南部及び北部 12講座 ・加藤与五郎博士顕彰講座 中央 1講座 ・大学連携講座（4校） 中央 10講座			
成果		・今まで実施したことのない内容の講座も積極的に企画・実施し、市民が学ぶ意欲を向上させることができた。 ・指導者名簿の中から講師を探すなど、新たに市民講座の講師として活躍の場を提供することができた。							
課題		・講座内容をマンネリ化させず、市民が受講したいと思える魅力ある講座を企画していけるように工夫していく必要がある。 ・大学側の都合により1校大学連携講座の実施ができなかった。							
指標名称（単位）				実績値		目標値			
				5年度	6年度	7年度	8年度	10年度	
活動指標		1DAY講座及び市民講座の年間受講者数（人）			460	536	646	650	700
活動指標		大学連携講座の年間受講者数（人）			—	—	215	350	350
他市との比較検証		近隣市の講座実施実績 安城市：公民館講座（11施設） 225講座、3,660人参加 碧南市：文化教室（8施設） 43講座、468人参加							
C 事業コスト		単位：千円		5年度（決算）	6年度（決算）	7年度（決算）	8年度（予算）	7年度事業費内訳	
	事業費 ①		26,498	27,743	27,905	28,461	合計 27,905,070 円		
	財源	特定財源	2,798	932	1,157	1,867	役務費 18,700 円		
		一般財源	23,700	26,811	26,748	26,594	委託料 27,078,150 円		
	職員人件費 ②		2,340	2,150	2,439	0	使用料及び賃借料 766,220 円		
	総事業費（①＋②）		28,838	29,893	30,344	28,461	負担金、補助及び交付金 42,000 円		
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		7年度特定財源名称			
7年度までの累積事業費		0		加藤与五郎顕彰科学教育振興基金繰入金					
9年度以降の事業費見込		0		講座受講料					

会計名			市民講座開設等事業	担当部	教育部		
一般会計				担当課	生涯学習課		
款	項	目		担当係	推進係		
10	5	1					
C H E D C K ハ 評 価 V	内部評価	各視点からの評価			評価の理由		
		必要性	・ 法的業務 ・ 市民ニーズ、社会需要 ・ 市民生活上必要である など	高い	市民の生涯学習活動に対し、学習機会の提供及び活動の支援をしており、事業の必要性は高い。		
		効率性	・ コストの節減、費用対効果 ・ 執行体制の効率性 ・ 手段の最適性 など	普通	各種講座を開催することにより、市民への多様な学習プログラムの提供、学習意欲の一層の向上、参加の促進を効率的に図っている。		
		妥当性	・ 市が主体となって実施すべき事業であるか ・ 総合計画との整合性 など	高い	時代の潮流や市民ニーズに対応したプログラムの提供など、市民の生涯学習活動を支援するために、市の関与は必要である。		
		施策への貢献度	・ 施策への貢献度 ・ 目標達成度 ・ 市民サービスへの効果 など	普通	各種講座を実施することで、市民の学習意欲の向上及び学習活動への参加の促進に寄与している。		
		今後の方向性		☐ 拡充 ☒ 現状維持 ☐ 改善・効率化 ☐ 縮小 ☐ 終期設定 ☐ 休止・廃止			
		引き続き、各生涯学習センターにおいて多彩な内容による講座を行うことで、市民の学習意欲の向上を図るとともに生涯学習活動への参加を促進していく。					

会計名			城町図書館跡地施設整備事業				担当部		教育部	
一般会計							担当課		生涯学習課	
款	項	目					担当係		青少年係	
10	5	1								

PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	教育文化						
		基本施策	生涯学習・青少年育成						
		施策の内容	学習活動の支援						
	目的	城町図書館跡地施設検討ワークショップ及び基本設計業務委託の結果を踏まえ、子育て世代や学生、地域住民が集い、歴史とにぎわいを感じられる交流の場となる施設を整備する。				主たる内容	○城町図書館跡地施設の活用検討 ○城町図書館跡地施設の施設整備		
		位置づけ							
		関連計画							
		根拠法令							
	対象者	市民			事業期間	令和6年度～令和9年度			
	実施方法	☐ 直営 ☒ 委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助・助成 ☐ その他							

BDO 事業実績 計画 実施 V	5年度実績		6年度実績		7年度実績		8年度計画		
			・城町図書館跡地活用基本設計 ・城町図書館跡地施設検討ワークショップ 第1回 7月20日（土） 第2回 8月24日（土） 第3回 9月28日（土）		・城町図書館跡地施設整備工事実施設計		※（仮称）ぶんれい交流館整備事業に移行		
	成果	子育て世代や学生、地域住民が集い、歴史とにぎわいを感じられる交流の場として整備するため、令和6年度に実施したワークショップの意見及び基本設計の結果を踏まえ、実施設計を行った。							
	課題	施設の管理運営体制について、関係部署とも調整しつつ総合的に判断して決定する必要がある。							
	指標名称（単位）				実績値		目標値		
					5年度	6年度	7年度	8年度	10年度
	活動指標	ワークショップの参加者数（人）			—	48	—	—	
	活動指標								
	他市との比較検証								

C 事業コスト	単位：千円		5年度（決算）	6年度（決算）	7年度（決算）	8年度（予算）	7年度事業費内訳	
	事業費①		0	9,104	21,340	241,694	合計	21,340,000 円
	財源	特定財源	0	0	10,670	212,764	委託料	21,340,000 円
		一般財源	0	9,104	10,670	28,930		
	職員人件費②		0	1,991	2,067	2,540		
	総事業費（①＋②）		0	11,095	23,407	244,234		
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0	7年度特定財源名称			
		7年度までの累積事業費		0	新しい地方経済・生活環境創生交付金			
		9年度以降の事業費見込		0				

会計名			城町図書館跡地施設整備事業	担当部	教育部	
一般会計				担当課	生涯学習課	
款	項	目		担当係	青少年係	
10	5	1				
C H E D C K ハ 評 価 V	内部評価	各視点からの評価			評価の理由	
		必要性	・ 法的業務 ・ 市民ニーズ、社会需要 ・ 市民生活上必要である など	普通	老朽化により閉館した城町図書館の跡地を活用し、子育て世代や学生、地域住民が集い、歴史とにぎわいを感じられる交流の場となる施設を整備する。	
		効率性	・ コストの節減、費用対効果 ・ 執行体制の効率性 ・ 手段の最適性 など	普通	城町図書館跡地施設の実施設について、基本設計及びワークショップ同様専門業者に委託した。	
		妥当性	・ 市が主体となって実施すべき事業であるか ・ 総合計画との整合性 など	高い	様々な世代が交流し、歴史とにぎわいを感じられる施設を整備することとされており、総合計画の重点戦略である「にぎわいの創出」にも合致している。	
		施策への貢献度	・ 施策への貢献度 ・ 目標達成度 ・ 市民サービスへの効果 など	高い	地域の子どもや子育て世代、高齢者など、様々な世代が交流する拠点を整備することで、にぎわいを創出するとともに、誰もが活躍できる社会の形成に寄与することができる。	
	今後の方向性		☐ 拡充 ☒ 現状維持 ☐ 改善・効率化 ☐ 縮小 ☐ 終期設定 ☐ 休止・廃止			
	実施設計の結果を踏まえ、令和8年度の着工に向けて滞りのないよう事業を推進していく。また、工事着工後は、地域住民等に対して適宜工事の進捗状況等を周知していく必要がある。					

会計名			青少年健全育成事業				担当部	教育部		
一般会計							担当課	生涯学習課		
款	項	目					担当係	青少年係		
10	5	5								
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	教育文化							
		基本施策	生涯学習・青少年育成							
		施策の内容	青少年の健全育成							
	目的	市内小・中・高等学校、関係機関で組織する児童生徒愛護会の活動を中心に、児童生徒の生活指導、安全確保等の取組を行い、青少年の健全育成を図る。				主たる内容	○夏季・冬季休業中、テスト期間中、夜間等街頭補導の実施 ○児童生徒愛護の集いの開催 ○善行美徳表彰の実施 ○家庭の日・青少年作文コンクール、家族への手紙コンクールの実施 ○青年学級の開設ほか青少年の健全育成を図る事業の実施			
		位置づけ								
		関連計画								
	根拠法令									
	対象者	市民				事業期間	～			
	実施方法	■直営 ■委託 □指定管理 □補助・助成 □その他								
	B 事業実績 O 実績 V	5年度実績		6年度実績		7年度実績		8年度計画		
・児童生徒愛護会定例会 2回 ・中学校区生活指導懇談会 延べ338人 ・児童生徒愛護の集い 157人 ・善行美徳表彰 22件24人 ・危険箇所調査 99箇所 ・各種作文コンクール 1,102通 ・合同街頭補導 延べ279日		・児童生徒愛護会定例会 2回 ・中学校区生活指導懇談会 延べ356人 ・児童生徒愛護の集い 186人 ・善行美徳表彰 21件31人 ・危険箇所調査 78箇所 ・各種作文コンクール 987通 ・合同街頭補導 延べ278日		・児童生徒愛護会定例会 2回 ・中学校区生活指導懇談会 延べ313人 ・児童生徒愛護の集い 174人 ・善行美徳表彰 22人 ・危険箇所調査 80箇所 ・各種作文コンクール 871通 ・合同街頭補導 延べ279日		・児童生徒愛護会定例会 ・中学校区生活指導懇談会 ・児童生徒愛護の集い ・善行美徳表彰 ・危険箇所調査 ・各種作文コンクール ・合同街頭補導				
成果		児童生徒愛護会では学校、家庭、地域における青少年育成について情報共有を図り、共通の認識を得ることができた。								
課題		SNSやオンラインゲームなどにより、様々な人とつながる環境が広がる中、児童生徒がトラブルや悪影響を受けることがないように、引き続き青少年の健全育成に努める。								
指標名称（単位）				実績値			目標値			
				5年度	6年度	7年度	8年度	10年度		
活動指標		合同街頭補導（延べ日数）			279	278	279	380	380	
成果指標		児童生徒愛護の集い参加者数（人）			157	186	174	200	200	
他市との比較検証										
C 事業コスト		単位：千円		5年度（決算）	6年度（決算）	7年度（決算）	8年度（予算）	7年度事業費内訳		
	事業費 ①		2,398	1,777	1,939	2,294	合計	1,938,556 円		
	財源	特定財源	0	0	0	0	報酬	93,800 円		
		一般財源	2,398	1,777	1,939	2,294	報償費	590,464 円		
	職員人件費 ②		3,146	3,265	1,736	1,778	旅費	1,320 円		
	総事業費（①＋②）		5,544	5,042	3,675	4,072	需用費	647,832 円		
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		7年度特定財源名称		委託料	559,500 円	
		7年度までの累積事業費		0				使用料及び賃借料	45,640 円	
9年度以降の事業費見込		0								

会計名			青少年健全育成事業		担当部	教育部
一般会計					担当課	生涯学習課
款	項	目			担当係	青少年係
10	5	5				
C H E D C K ハ 評 価 V	内部評価	各視点からの評価			評価の理由	
		必要性	・ 法的業務 ・ 市民ニーズ、社会需要 ・ 市民生活上必要である など	高い	街頭補導活動、作文コンクール等各事業を実施することにより、青少年の非行防止や健全育成の推進に寄与することができると考えられ、必要性が高い。	
		効率性	・ コストの節減、費用対効果 ・ 執行体制の効率性 ・ 手段の最適性 など	高い	児童生徒愛護会は各学校の生徒指導主事等で構成されており、各地域の実情にあわせた取組や地域との連携を図ることができる。 学区内危険箇所調査を通学路改善要望と合同で実施し（平成27年度～）、調査や対応検討の効率化を図っている。	
		妥当性	・ 市が主体となって実施すべき事業であるか ・ 総合計画との整合性 など	高い	各事業を実施するにあたっては、学校、家庭、地域及び関係行政機関の連携が必要であるため、市が主体となることが妥当である。	
		施策への貢献度	・ 施策への貢献度 ・ 目標達成度 ・ 市民サービスへの効果 など	普通	生活指導懇談会の開催や合同街頭補導の実施により、学校、家庭、地域が一体となって青少年の健全育成に取り組む環境づくりを推進することができる。	
	今後の方向性		☐ 拡充 ☒ 現状維持 ☐ 改善・効率化 ☐ 縮小 ☐ 終期設定 ☐ 休止・廃止			
	青少年を取り巻く環境が大きく変化する中、その時々に対応すべき問題を意識しながら、地域ぐるみで児童生徒の生活指導・安全確保への取組を促進できるよう、事業を引き続き実施する。					

会計名			放課後子ども教室推進事業				担当部		教育部	
一般会計							担当課		生涯学習課	
款	項	目					担当係		青少年係	
10	5	5								

PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	教育文化							
		基本施策	生涯学習・青少年育成							
		施策の内容	青少年の健全育成							
	目的	学校、家庭、地域が連携して放課後の子どもの安心・安全な居場所を設け、子どもたちが地域社会の中で、心豊かで健やかに育まれる環境づくりを推進する。				主たる内容	地域の人々の参画を得て、遊びや学習、体験活動、地域住民との交流等の取組を行う放課後子ども教室を市内全小学校で開設する。 【体験教室】 ○缶バッジ作り ○クリスマスグッズ作り ○折り紙遊び ○ニュースポーツ ○英語遊び ○ダンス ○キッズヨガ等			
		位置づけ								
		関連計画	子ども・子育て育成支援事業計画、刈谷市生涯学習推進計画							
		根拠法令	刈谷市放課後子ども教室事業実施要綱、刈谷市地域学校協働活動推進員設置要綱							
	対象者	各小学校に在籍する児童				事業期間	平成20年度～			
	実施方法	■直営 □委託 □指定管理 □補助・助成 □その他								

BDO 事業実績 計画 V	5年度実績		6年度実績		7年度実績		8年度計画			
	・開催回数 903回		・開催回数 857回		・開催回数 851回		・開催回数 900回			
	成果	地域住民の参画を得て、小学生の安心・安全な居場所を提供することができた。								
	課題	少人数学級が推進されているため、実施教室の確保が課題となる。								
	指標名称（単位）				実績値		目標値			
					5年度	6年度	7年度	8年度	10年度	
	活動指標	登録児童数（人）				1,030	927	911	1,000	1,000
	指標									
	他市との比較検証	開設状況 碧南市：8校中1校、週3日、知立市：7校中7校、週5日、両市とも小学校の教室で開設。高浜市：5校中5校、週5日、小学校のグラウンドで開設（雨天時は体育館）。安城市：21校中0校（H29年度廃止）								

C 事業コスト	単位：千円		5年度（決算）	6年度（決算）	7年度（決算）	8年度（予算）	7年度事業費内訳		
	事業費 ①		25,166	29,444	28,850	36,533	合計	28,849,532 円	
	財源	特定財源	13,952	13,444	16,325	21,062	報酬	2,819,628 円	
		一般財源	11,214	16,000	12,525	15,471	職員手当等	702,556 円	
	職員人件費 ②		4,604	4,778	2,150	2,201	報償費	23,224,766 円	
	総事業費（①+②）		29,770	34,222	31,000	38,734	旅費	48,000 円	
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		7年度特定財源名称		需用費	493,740 円
		7年度までの累積事業費		0		地域学校協働活動推進事業費補助金（県）		役務費	1,392,938 円
		9年度以降の事業費見込		0				使用料及び賃借料	167,904 円

会計名			放課後子ども教室推進事業	担当部	教育部		
一般会計				担当課	生涯学習課		
款	項	目		担当係	青少年係		
10	5	5					
C H E D C K ハ 評 価 V	内部評価	各視点からの評価			評価の理由		
		必要性	・ 法的業務 ・ 市民ニーズ、社会需要 ・ 市民生活上必要である など	高い	児童が心豊かで健やかに育まれる環境整備推進のため、遊び、学び、体験、地域の方々と交流する場として、放課後の安心・安全な居場所を確保することが必要である。		
		効率性	・ コストの節減、費用対効果 ・ 執行体制の効率性 ・ 手段の最適性 など	普通	既存の学校施設を利用すること、また、地域住民にスタッフとして参加いただくことにより、効率的な事業の推進を図ることができる。		
		妥当性	・ 市が主体となって実施すべき事業であるか ・ 総合計画との整合性 など	普通	本事業を実施するにあたっては学校関係者との連携、協力が必要であり、行政が主体となって積極的に関与する必要がある。		
		施策への貢献度	・ 施策への貢献度 ・ 目標達成度 ・ 市民サービスへの効果 など	高い	日常的に交流することが少ない他学年の児童や地域の方々と接する機会ができ、児童の健全育成に大きく寄与している。		
		今後の方向性		☐ 拡充 ☒ 現状維持 ☐ 改善・効率化 ☐ 縮小 ☐ 終期設定 ☐ 休止・廃止			
		補助金の動向を注視しつつ、地域学校協働活動との兼ね合いを考えながら、今後の運営方法等について検討する必要がある。					

会計名			子ども・若者支援事業			担当部	教育部		
一般会計						担当課	生涯学習課		
款	項	目				担当係	青少年係		
10	5	5							
PLAN 事業概要 計画V	総合計画 施策体系	分野	教育文化						
		基本施策	生涯学習・青少年育成						
		施策の内容	青少年の健全育成						
	目的	ひきこもりやニート等の困難を抱える子ども・若者及びその家族に対し、専門の相談員による相談窓口を開設することで、子ども・若者の健全な育成を図る。 また、子ども・若者支援地域協議会を実施することで、子ども・若者支援機関同士の連携を図る。			主たる内容	○子ども・若者総合相談窓口の実施 対象者 市内在住、在勤又は在学で、概ね40歳までの人及びその家族 場所 子ども相談センター 日時 毎週月～土曜日 9時～17時 ※木曜日のみ 12時～19時 ○子ども・若者の居場所 対象者 総合相談窓口と同じ 場所 子ども相談センター 日時 毎月第2・3・4土曜日 13時30分～16時30分 ○子ども・若者支援地域協議会の実施			
		位置づけ							
		関連計画							
		根拠法令	子ども・若者育成支援推進法						
	対象者	子ども・若者（概ね40歳まで）			事業期間	令和2年度～			
	実施方法	☐ 直営 ☒ 委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助・助成 ☐ その他							
	BDO 事業実績 計画V	5年度実績		6年度実績		7年度実績		8年度計画	
・相談者数 58人 ・相談回数 342回 ・子ども・若者のための居場所開催回数 36回 ・子ども・若者支援地域協議会開催回数 3回		・相談者数 75人 ・相談回数 504回 ※R6.10～実施日拡充 ・子ども・若者のための居場所開催回数 36回 ・子ども・若者支援地域協議会開催回数 3回		・相談者数 98人 ・相談回数 838回 ・子ども・若者のための居場所開催回数 36回 ・子ども・若者支援地域協議会開催回数 3回		・相談者数 100人 ・相談回数 840回 ・子ども・若者のための居場所開催回数 36回 ・子ども・若者支援地域協議会開催回数 3回			
成果		ひきこもりやニートなど社会的困難を抱える子ども・若者の不安や悩みなどを聴き、他の支援機関と連携しながら相談窓口を実施することで、相談者とその家族の悩み解消のための検討や、心理的不安の軽減を行うことができた。							
課題		困難な相談事例への対応のため、ケース検討会議を実施するなど、他機関との連携をさらに充実させる必要がある。							
指標名称（単位）				実績値		目標値			
				5年度	6年度	7年度	8年度	10年度	
活動指標		相談回数（回）			342	504	838	840	840
活動指標									
他市との比較検証		豊田市若者サポートステーション：毎週火～日曜日実施 安城市子ども若者総合相談センター「あんさぼ」：毎週火～土曜日実施 西尾市子ども・若者総合相談センター「コンパス」：毎週火～土曜日実施							
C 事業コスト		単位：千円		5年度（決算）	6年度（決算）	7年度（決算）	8年度（予算）	7年度事業費内訳	
	事業費 ①		7,616	21,569	45,518	45,158	合計	45,517,593 円	
	財源	特定財源	1,613	6,500	6,500	6,500	報償費	150,600 円	
		一般財源	6,003	15,069	39,018	38,658	需用費	145,134 円	
	職員人件費 ②		3,990	4,778	2,563	2,625	役務費	67,657 円	
	総事業費（①+②）		11,606	26,347	48,081	47,783	委託料	44,719,569 円	
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		7年度特定財源名称		使用料及び賃借料	117,173 円
		7年度までの累積事業費		0		生活困窮者就労準備支援事業費等補助金		備品購入費	317,460 円
9年度以降の事業費見込		0							

会計名			子ども・若者支援事業	担当部	教育部	
一般会計				担当課	生涯学習課	
款	項	目		担当係	青少年係	
10	5	5				
C H E D C K ハ 評 価 V	内部評価	各視点からの評価			評価の理由	
		必要性	・ 法的業務 ・ 市民ニーズ、社会需要 ・ 市民生活上必要である など	高い	社会的困難を抱える子ども・若者の増加が社会問題化したことにより、子ども・若者育成支援推進法のもとで総合相談窓口の体制整備が努力義務とされており、社会需要性が高い。	
		効率性	・ コストの節減、費用対効果 ・ 執行体制の効率性 ・ 手段の最適性 など	高い	子ども・若者総合相談窓口は、子ども・若者支援に精通したNPO法人に業務委託しており、手段として最適である。	
		妥当性	・ 市が主体となって実施すべき事業であるか ・ 総合計画との整合性 など	高い	相談内容に生活困窮が含まれるため、無料で相談窓口や居場所を開設することが望ましく、そのためには市が主体となり実施すべきである。	
		施策への貢献度	・ 施策への貢献度 ・ 目標達成度 ・ 市民サービスへの効果 など	高い	社会的困難を抱える子ども・若者を支援することで青少年の自立支援と社会参加が図られるため、施策への貢献度は高い。	
	今後の方向性		■ 拡充 □ 現状維持 □ 改善・効率化 □ 縮小 □ 終期設定 □ 休止・廃止			
	困難な相談事例への対応のため、ケース検討会議を実施するなど、他機関との連携をさらに充実させる必要がある。また、外出できない相談者のためのアウトリーチやオンラインでの相談など、相談者目線での支援の拡充を行う必要がある。					

会計名			夢が広がる未来応援事業				担当部		教育部		
一般会計							担当課		生涯学習課		
款	項	目					担当係		青少年係		
10	5	5									
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	教育文化								
		基本施策	生涯学習・青少年育成								
		施策の内容	青少年の健全育成								
	目的	中学生を対象に、様々な職業や文化芸術、スポーツ等の各分野で活躍されている方の話を聴く機会を創り、未来に向けた夢の選択肢を広げる。				主たる内容	○子どもたちへの講演内容に関するアンケート実施 ○講演会開催及び放映				
		位置づけ									
		関連計画									
	根拠法令										
	対象者	市内中学生				事業期間	令和5年度～				
	実施方法	■直営 □委託 □指定管理 □補助・助成 □その他									
	BDO 事業実績 計画 実施 V	5年度実績		6年度実績		7年度実績		8年度計画			
・講演内容に関する対象者アンケートの実施 ・講演会の開催		・講演内容に関する対象者アンケートの実施 ・講演会の開催		・講演内容に関する対象者アンケートの実施 ・講演会の開催		・講演内容に関する対象者アンケートの実施 ・講演会の開催					
成果		中学生がチャレンジすることの大切さなどを学ぶとともに、将来の夢を考えるきっかけを作ることができた。									
課題		引き続き、子どもたちの目線にあった内容の講師を選定していく必要がある。									
指標名称（単位）				実績値			目標値				
				5年度	6年度	7年度	8年度	10年度			
活動指標		講演会の参加人数（人）				1,056	1,353	1,457	1,460	1,460	
活動指標											
他市との比較検証		子どもたちの意見をあらかじめ聞いた上で、講師を選定する手法は他市には見られない事業と考える。									
C 事業コスト		単位：千円		5年度（決算）	6年度（決算）	7年度（決算）	8年度（予算）	7年度事業費内訳			
	事業費 ①		4,011	3,892	5,565	8,634	合計	5,564,960 円			
	財源	特定財源	0	0	2,783	3,697	委託料	2,973,270 円			
		一般財源	4,011	3,892	2,782	4,937	使用料及び賃借料	2,591,690 円			
	職員人件費 ②		1,688	1,752	3,721	3,810					
	総事業費（①+②）		5,699	5,644	9,286	12,444					
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		7年度特定財源名称					
		7年度までの累積事業費		0		新しい地方経済・生活環境創生交付金					
		9年度以降の事業費見込		0							

会計名			夢が広がる未来応援事業	担当部	教育部
一般会計				担当課	生涯学習課
款	項	目		担当係	青少年係
10	5	5			
C H E D C K ハ 評 価 V	各視点からの評価			評価の理由	
	必要性	・ 法的業務 ・ 市民ニーズ、社会需要 ・ 市民生活上必要である など		普通	未来を担う子どもたちに、様々な可能性を広げることができる施策である。
	効率性	・ コストの節減、費用対効果 ・ 執行体制の効率性 ・ 手段の最適性 など		普通	リモートによる視聴方法も併用することで、会場に来られない生徒も参加することができる手法をとっている。
	妥当性	・ 市が主体となって実施すべき事業であるか ・ 総合計画との整合性 など		普通	多様な体験や学習機会を設けることで青少年の健全育成を図るなど、総合計画とも整合性がある。
	施策への貢献度	・ 施策への貢献度 ・ 目標達成度 ・ 市民サービスへの効果 など		高い	コロナ禍などにより、夢や目標を持ちづらくなっていた子どもたちに対して、将来を考えるきっかけを創出する効果がある。
	今後の方向性		□ 拡充 ■ 現状維持 □ 改善・効率化 □ 縮小 □ 終期設定 □ 休止・廃止		
	引き続き、事業を継続することにより、子どもたちの健全育成を図る。				

会計名			市民講座開設等事業				担当部	教育部	
一般会計							担当課	生涯学習課	
款	項	目					担当係	推進係	
10	5	12							
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	教育文化						
		基本施策	生涯学習・青少年育成						
		施策の内容	学習機会の充実						
	目的	中央生涯学習センターにおいて、市民講座等各種市民向け講座及びイベントを行い、市民の学習意欲の向上や学習活動への参加促進を図る。			主たる内容	○市民講座の開催 ○市民講師企画講座の開催 ○刈谷まなびの広場の開催 ※大学連携講座は市民講座開設等事業（社会教育総務費）に移行			
		位置づけ	関連計画 刈谷市生涯学習推進計画						
		根拠法令							
		対象者	市内在住・在勤または在学の人など			事業期間	～		
	実施方法		☐ 直営 ☐ 委託 ☒ 指定管理 ☐ 補助・助成 ☒ その他						
	BDO 事業実績 計画 実施 V	5年度実績		6年度実績		7年度実績		8年度計画	
		・市民講座 32講座544人受講 ・刈谷まなびの広場 17講座240人受講 3事業307人参加 ・大学連携講座 愛知教育大学 2講座39人受講 名城大学 4講座152人受講 至学館大学 1講座39人受講 愛知工業大学 2講座43人受講		・市民講座 32講座505人受講 ・刈谷まなびの広場 15講座287人受講 2事業190人参加 ・大学連携講座 愛知教育大学 3講座61人受講 名城大学 4講座180人受講 至学館大学 1講座36人受講 愛知工業大学 2講座54人受講		・市民講座 34講座592人受講 ・刈谷まなびの広場 9講座116人受講 6事業333人参加		・市民講座 34講座 ・刈谷まなびの広場 10講座	
成果		・大学教授等による専門的な講座を実施することにより、市民の学習意欲の向上を図ることができた。 ・市民講師企画講座を開催することで、市民の学ぶ楽しさから一歩前進した教える喜びを体験してもらえる機会を提供し、教える第一歩を支援することができた。							
課題		・社会情勢や時代に即した内容の講座を企画することで、市民の学習意欲をより一層高められるよう取組む必要がある。							
指標名称（単位）			実績値			目標値			
			5年度	6年度	7年度	8年度	10年度		
成果指標		市民講座の年間受講者数（人）		544	505	592	600	650	
成果指標		大学連携講座の年間受講者数（人）		273	331	—	—	—	
他市との比較検証		近隣市の講座実施実績 安城市：公民館講座（11施設） 226講座、2,739人参加 碧南市：文化教室（8施設） 35講座、500人参加							
C 事業コスト		単位：千円		5年度（決算）	6年度（決算）	7年度（決算）	8年度（予算）	7年度事業費内訳	
	事業費 ①		12,367	12,521	12,119	12,124	合計	12,119,047 円	
	財源	特定財源	961	62	0	0	委託料	12,116,000 円	
		一般財源	11,406	12,459	12,119	12,124	使用料及び賃借料	3,047 円	
	職員人件費 ②		2,570	2,548	2,439	0			
	総事業費（①＋②）		14,937	15,069	14,558	12,124			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		7年度特定財源名称			
		7年度までの累積事業費		0					
9年度以降の事業費見込		0							

会計名			市民講座開設等事業	担当部	教育部	
一般会計				担当課	生涯学習課	
款	項	目		担当係	推進係	
10	5	12				
C H E D C K ハ 評 価 V	内部評価	各視点からの評価		評価の理由		
		必要性	・ 法的業務 ・ 市民ニーズ、社会需要 ・ 市民生活上必要である など	高い	市民の生涯学習活動に対し、学習機会の提供及び活動の支援をしており、事業の必要性は高い。	
		効率性	・ コストの節減、費用対効果 ・ 執行体制の効率性 ・ 手段の最適性 など	普通	各種講座、生涯学習イベントの開催により市民への多様な学習プログラムの提供、学習意欲の一層の向上や参加促進を効率的に行っている。	
		妥当性	・ 市が主体となって実施すべき事業であるか ・ 総合計画との整合性 など	高い	時代の変化と市民ニーズに対応したプログラムの提供、生涯学習イベントの開催など市民の生涯学習活動を支援するために、市の関与は必要である。	
		施策への貢献度	・ 施策への貢献度 ・ 目標達成度 ・ 市民サービスへの効果 など	普通	各種講座及び生涯学習イベントを実施することで、市民の学習意欲の向上及び学習活動への参加の促進に寄与している。	
			今後の方向性	☐ 拡充 ☒ 現状維持 ☐ 改善・効率化 ☐ 縮小 ☐ 終期設定 ☐ 休止・廃止		
		引き続き中央生涯学習センターにおいて、各種市民向け講座及び生涯学習イベントを行うことで、市民の学習意欲の向上を図るとともに学習活動への参加を促進していく。また、今後も市民講師企画講座を行うことで、新たに自らの技能を教えたいと思う市民の発掘を進めるとともに、講座のサポートを行っていく。				

会計名			文化振興事業				担当部	教育部		
一般会計							担当課	生涯学習課		
款	項	目					担当係	推進係		
10	5	12								
PLAN 事業概要 計画V	総合計画 施策体系	分野	教育文化							
		基本施策	歴史・文化・観光交流							
		施策の内容	文化芸術による魅力づくり							
	目的	市民に舞台芸術とふれあう機会を提供し、文化芸術意識の向上を図る。				主たる内容	○文化芸術創造の拠点である総合文化センターで、指定管理者が実施する各種の文化普及鑑賞事業を支援する。 ○発表の場としての機能を提供することで、市民の芸術文化活動を支援する。			
		位置づけ	関連計画 刈谷市文化振興基本計画							
		根拠法令	劇場、音楽堂等の活性化に関する法律							
		対象者	対象者を限定せず				事業期間	平成23年度～		
	実施方法	□直営 □委託 ■指定管理 □補助・助成 □その他								
	BDO 事業実績 計画V	5年度実績		6年度実績		7年度実績		8年度計画		
		34事業(有料27事業・無料7事業)を実施、入場者延32,849人 ・大ホール利用 614回 162,237人 ・小ホール利用 520回 39,506人 ・リハーサル室1利用 366回 13,015人 ・リハーサル室2利用 446回 9,713人		29事業(有料23事業・無料6事業)を実施、入場者延29,668人 ・大ホール利用 612回 149,049人 ・小ホール利用 531回 43,616人 ・リハーサル室1利用 341回 11,464人 ・リハーサル室2利用 490回 9,564人		36事業(有料26事業・無料10事業)を実施、入場者延36,927人 ・大ホール利用 621回 166,227人 ・小ホール利用 554回 41,614人 ・リハーサル室1利用 409回 18,417人 ・リハーサル室2利用 519回 12,359人		40事業(有料29事業・無料11事業)を実施		
成果		・大ホールでの主催事業として、「東京フィルハーモニー交響楽団のメンバーによる弦楽室内コンサート」等を実施し、多くの市民に鑑賞してもらうことを通じて舞台芸術の普及、振興に寄与することができた。 ・令和3年度に発足した「アイリス少年少女合唱団」の活動を継続することにより、市内外の子どもたちが文化芸術活動に参加し優れた芸術に触れる機会を創出し、次代の担い手育成を図ることができた。								
課題		・引き続き事業数の確保だけでなく、過去の実績を踏まえながら入場者数が見込める事業選定を行う必要がある。 ・市民のニーズを捉え、実施内容について検討する必要がある。								
指標名称（単位）		実績値			目標値					
		5年度	6年度	7年度	8年度	10年度				
成果指標		文化振興事業入場者数（人）	32,849	29,668	36,927	45,000	49,000			
成果指標		大ホール稼働率（%）	84.1	81.8	85.5	90.0	91.0			
他市との比較検証		同規模の文化施設等の管理・運営・企画を民間の指定管理者に任せている自治体、施設名、事業数 三重県津市：津市久居アルスプラザ 46事業 大阪府大阪狭山市：大阪狭山市文化会館（SAYAKAホール） 38事業 滋賀県彦根市：ひこね市文化プラザ 32事業								
C 事業コスト		単位：千円		5年度（決算）	6年度（決算）	7年度（決算）	8年度（予算）	7年度事業費内訳		
	事業費 ①		35,214	33,060	40,000	37,377	合計	40,000,000 円		
	財源	特定財源	0	0	0	3,600	委託料	40,000,000 円		
		一般財源	35,214	33,060	40,000	33,777				
	職員人件費 ②		3,836	4,460	3,721	0				
	総事業費（①＋②）		39,050	37,520	43,721	37,377				
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		7年度特定財源名称				
		7年度までの累積事業費		0						
9年度以降の事業費見込		0								

会計名			文化振興事業	担当部	教育部	
一般会計				担当課	生涯学習課	
款	項	目		担当係	推進係	
10	5	12				
C H E D C K ハ 評 価 V	内部評価	各視点からの評価			評価の理由	
		必要性	・ 法的業務 ・ 市民ニーズ、社会需要 ・ 市民生活上必要である など	普通	身近な場所で様々な文化普及・鑑賞事業を開催することで、市民の舞台芸術作品の鑑賞機会に対するニーズを実現している。	
		効率性	・ コストの節減、費用対効果 ・ 執行体制の効率性 ・ 手段の最適性 など	高い	指定管理者による運営を行うことで民間の備えるノウハウを活用し、地方自治体の文化施設では招聘することが難しい事業を開催することに成功している。 大規模公演は、共同主催の形で実施することで、リスクを抑えながら質の高い公演を開催している。	
		妥当性	・ 市が主体となって実施すべき事業であるか ・ 総合計画との整合性 など	普通	文化芸術創造の拠点となることで、「誇りと愛着のもてるまちづくり」施策を実現している。また、普及活動としての市民スタッフ育成事業、市民の発表支援、芸術活動に参加する子どもたちの育成を通じて、「市民が活動しやすい施設・環境づくり」施策を実施している。	
		施策への貢献度	・ 施策への貢献度 ・ 目標達成度 ・ 市民サービスへの効果 など	高い	著名なアーティストや、芸術性の高い公演を実施することにより、身近に質の高い舞台芸術を鑑賞する機会を提供することで市民サービスの向上を図っている。また、センターの知名度向上により、刈谷市の認知度アップに貢献している。	
	今後の方向性		☐ 拡充 ☒ 現状維持 ☐ 改善・効率化 ☐ 縮小 ☐ 終期設定 ☐ 休止・廃止			
	ホールの知名度向上及びシティセールスとして著名な公演の誘致に力を入れるとともに、市民や地域の文化芸術の振興に寄与する公演を今後もバランスよく編成していく。更に、出演者等によるワークショップや講習会などの機会を創出することで、市民や子どもたちの文化芸術活動への参加を支援していく。					

会計名			刈谷からの文化発信創作事業				担当部	教育部		
一般会計							担当課	生涯学習課		
款	項	目					担当係	推進係		
10	5	12								
PLAN 事業概要 計画V	総合計画 施策体系	分野	教育文化							
		基本施策	歴史・文化・観光交流							
		施策の内容	文化芸術による魅力づくり							
	目的	市制施行75周年を機に、総合文化センターの市民スタッフ「文化工房かりや」を中心とし、公募の市民とともに舞台芸術を創造・表現・発表することで、刈谷の文化を掘り起こし、刈谷への愛着・誇りを醸成する。				主たる内容	○台本の作成 ○市民劇出演者及び舞台スタッフの公募 ○関連ワークショップ及び講座の開催 ○市民劇の開催			
		位置づけ	関連計画 刈谷市文化振興基本計画							
		根拠法令	劇場、音楽堂等の活性化に関する法律							
		対象者	対象者を限定せず				事業期間	令和7年度～令和7年度		
	実施方法	□直営 □委託 ■指定管理 □補助・助成 □その他								
	BDO 事業実績 計画V	5年度実績		6年度実績		7年度実績		8年度計画		
						市制施行75周年記念市民劇「もう一人の私のHistory-糸が紡いだ願い-」 ・開催日 8月31日（日） ・会場 総合文化センター大ホール				
成果		・ボランティア団体である「文化工房かりや」を中心に、オーディションや稽古、関連企画等を運営することによって、事業終了後も創作活動を実施していくための企画制作能力を養うことができた。 ・幅広い年代の公募市民が稽古等を通じて交流することによって、新たな人間関係を育むことができた。 ・関連企画の開催により、出演以外でも市民が事業に参加できる機会を創出し、地元への愛着を醸成することができた。								
課題		・当事業は地元を舞台とした内容であったこともあり、市民も比較的興味を持ちやすい題材であったと思われるが、今回培った舞台製作のノウハウを次回周年事業の際の企画に生かし、引き続き、市民の興味が湧くような創作を織り交ぜた公演の開催を目指していく。								
指標名称（単位）				実績値		目標値				
				5年度	6年度	7年度	8年度	10年度		
成果指標		入場者数（人）				—	—	888	—	—
成果指標		公募による出演者（人）				—	—	75	—	
他市との比較検証		施設付きのボランティア団体は知立市や碧南市にあるが、直近5年でボランティア団体が主体となって企画を行っている演劇の公演はない。								
C 事業コスト		単位：千円		5年度（決算）	6年度（決算）	7年度（決算）	8年度（予算）	7年度事業費内訳		
	事業費 ①		0	0	4,500	0	合計	4,500,000 円		
	財源	特定財源	0	0	2,000	0	委託料	4,500,000 円		
		一般財源	0	0	2,500	0				
	職員人件費 ②		0	0	0	0				
	総事業費（①＋②）		0	0	4,500	0				
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		7年度特定財源名称				
		7年度までの累積事業費		0		コミュニティ助成事業「地域の芸術環境づくり助成事業」				
		9年度以降の事業費見込		0						

会計名			刈谷からの文化発信創作事業	担当部	教育部	
一般会計				担当課	生涯学習課	
款	項	目		担当係	推進係	
10	5	12				
C H E D C K ハ 評 価 V	内部評価	各視点からの評価			評価の理由	
		必要性	・ 法的業務 ・ 市民ニーズ、社会需要 ・ 市民生活上必要である など	高い	市民の出演者を募り、市民が中心となって企画運営する市民参加型による舞台芸術を制作する機会を提供することは、文化振興において重要である。	
		効率性	・ コストの節減、費用対効果 ・ 執行体制の効率性 ・ 手段の最適性 など	普通	総合文化センターの事業として、指定管理者がボランティアスタッフと協働することで、事業運営や経理などが適正に行われている。	
		妥当性	・ 市が主体となって実施すべき事業であるか ・ 総合計画との整合性 など	普通	舞台芸術作品を鑑賞するだけでなく、市民が主体となって創造・制作する機会を提供するために、市が支援していくことは円滑な事業実施を進めていく上で妥当である。	
		施策への貢献度	・ 施策への貢献度 ・ 目標達成度 ・ 市民サービスへの効果 など	高い	地域の歴史資源を題材とした市民劇に携わることで地元への愛着を醸成するとともに、市民が主体となって文化芸術を創造していくことは、刈谷の文化振興に大きく寄与しているものである。	
	今後の方向性		☐ 拡充 ☐ 現状維持 ☐ 改善・効率化 ☐ 縮小 ☐ 終期設定 ☒ 休止・廃止			
	市民ボランティアスタッフの創作能力を養い、事業終了後も引き続き主体的に自主公演を開催していけるよう、支援をしていく。					

会計名			家庭教育地域推進事業				担当部		教育部	
一般会計							担当課		生涯学習課	
款	項	目					担当係		青少年係	
10	5	1								

PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	教育文化					
		基本施策	生涯学習・青少年育成					
		施策の内容	青少年の健全育成					
	目的	核家族化が進み、子どもへの接し方がわからないと不安を抱える親が増加している現状に対し、各種事業を地域において実施することで、家庭や地域の教育力の向上を図る。				主たる内容	○小学校区家庭教育推進協議会の実施	
	位置づけ	関連計画						
		根拠法令						
	対象者	市民			事業期間	～		
実施方法	☐ 直営 ☒ 委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助・助成 ☐ その他							

BDO 事業実績 計画 V	5年度実績		6年度実績		7年度実績		8年度計画		
	日高小学校区家庭教育地域推進事業 ・「日高っこフェス」の開催等 富士松北小学校区家庭教育地域推進事業 ・竹切り・竹炭づくり体験等 双葉小学校区家庭教育地域推進事業 ・車中泊体験等		亀城小学校区家庭教育地域推進事業 ・給食参観等 富士松南小学校区家庭教育地域推進事業 ・スポーツ・防災教室等 小垣江東小学校区家庭教育地域推進事業 ・親子ふれあい除草作業等		衣浦小学校区家庭教育地域推進事業 ・防災教室等 かりがね小学校区家庭教育地域推進事業 ・避難所生活体験会等 小垣江小学校区家庭教育地域推進事業 ・清掃活動、給食試食会等		小高原、朝日、平成小学校区家庭教育地域推進事業		
	成果	学校、家庭、地域が協力して家庭教育地域活動、親子等ふれあい活動を行い、家庭教育への意識の高揚が図られた。							
	課題	開催校が3校となった一方で参加者数が伸び悩んでいるため、より保護者の参画が得られるような企画内容の工夫の必要がある。							
	指標名称（単位）				実績値		目標値		
					5年度	6年度	7年度	8年度	10年度
	活動指標	家庭教育地域推進事業延べ参加者数（人）			1,364	2,645	547	1,000	1,000
	指標								
	他市との比較検証								

C 事業コスト	単位：千円		5年度（決算）	6年度（決算）	7年度（決算）	8年度（予算）	7年度事業費内訳	
	事業費 ①		270	270	270	270	合計	270,000 円
	財源	特定財源	0	0	0	0	委託料	270,000 円
		一般財源	270	270	270	270		
	職員人件費 ②		307	239	413	847		
	総事業費（①＋②）		577	509	683	1,117		
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		7年度特定財源名称		
		7年度までの累積事業費		0				
		9年度以降の事業費見込		0				

会計名			P T A 活動育成事業				担当部		教育部	
一般会計							担当課		生涯学習課	
款	項	目					担当係		青少年係	
10	5	1								

P L A 事 業 概 要 計 画 V	総合計画 施策体系	分野	教育文化						
		基本施策	生涯学習・青少年育成						
		施策の内容	青少年の健全育成						
	目 的	P T A 会員の教養の向上や相互の親睦を図ることにより、P T A 活動の育成を図る。				主 た る 内 容	P T A 連絡協議会育成補助金を交付し、連絡協議会総会等を開催するほか、日本 P T A 全国研究大会や東海北陸ブロック研究大会に参加する。		
		位置づけ							
		関連計画							
		根拠法令							
	対象者	刈谷市小中学校 P T A 連絡協議会				事業期間	～		
	実施方法	☐ 直営 ☐ 委託 ☐ 指定管理 ☒ 補助・助成 ☐ その他							

B 事 業 実 績 O A 実 施 V	5年度実績		6年度実績		7年度実績		8年度計画			
	・ P T A 連絡協議会総会 ・ P T A 情報交換会 ・ 東海・北陸ブロック P T A 研究大会福井大会 ・ 日本 P T A 全国研究大会広島大会 ・ 県・三河 P T A 連絡協議会各種事業		・ P T A 連絡協議会総会 ・ P T A 情報交換会 ・ 東海・北陸ブロック P T A 研究大会愛知大会 ・ 日本 P T A 全国研究大会川崎大会 ・ 県・三河 P T A 連絡協議会各種事業		・ P T A 連絡協議会総会 ・ P T A 情報交換会 ・ 日本 P T A 全国・東海北陸ブロック研究大会石川大会 ・ 県・三河 P T A 連絡協議会各種事業		・ P T A 連絡協議会総会 ・ P T A 情報交換会 ・ 日本 P T A 全国研究大会奈良大会 ・ 県・三河 P T A 連絡協議会 ・ 日本 P T A 東海北陸研究大会三重大会 各種事業			
	成果	役員会、家庭教育部研修などの実施により、各小中学校の P T A 間での交流が図られた。								
	課題	活動内容の検討や、学校との協働活動等における P T A の役割について研究が必要である。								
	指標名称（単位）				実績値		目標値			
					5年度	6年度	7年度	8年度	10年度	
	活動指標	P T A 総会など各種研修会の実施				継続実施	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施
	指標									
	他市との比較検証									

C 事 業 コ ス ト V	単位：千円		5年度（決算）	6年度（決算）	7年度（決算）	8年度（予算）	7年度事業費内訳	
	事業費 ①		362	563	519	544	合計	519,090 円
	財源	特定財源	0	0	0	0	負担金、補助及び交付金	519,090 円
		一般財源	362	563	519	544		
	職員人件費 ②		691	637	1,075	931		
	総事業費（①＋②）		1,053	1,200	1,594	1,475		
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		7年度特定財源名称		
		7年度までの累積事業費		0				
		9年度以降の事業費見込		0				

会計名			生涯学習推進事業				担当部	教育部	
一般会計							担当課	生涯学習課	
款	項	目					担当係	推進係	
10	5	1							
PLAN 事業概要 計画V	総合計画 施策体系	分野	教育文化						
		基本施策	生涯学習・青少年育成						
		施策の内容	学習活動の支援						
	目的	刈谷市生涯学習推進計画に基づき各種事業を実施することで、市民の学習活動への取組を支援する。				主たる内容	○第4次刈谷市生涯学習推進計画における進捗管理 ○生涯学習に関する研修会の開催		
		位置づけ							
		関連計画	刈谷市生涯学習推進計画						
		根拠法令							
	対象者	市民等				事業期間	～		
	実施方法	■直営 □委託 □指定管理 □補助・助成 □その他							
	BDO 事業実績 計画V	5年度実績	・生涯学習推進会議 ・職員研修会 ・指導者等研修会 ・生涯学習リーダー基礎知識講座（受講者9人）						
6年度実績			・生涯学習推進会議 ・職員研修会 ・指導者等研修会						
		7年度実績	・生涯学習推進会議 ・指導者等研修会 ・生涯学習リーダー基礎知識講座 ・生涯学習リーダーステップアップ講座						
8年度計画			・生涯学習推進会議 ・指導者等研修会 ・生涯学習リーダーステップアップ講座						
		成果	・生涯学習リーダー育成のための講座を実施し、生涯学習についての理解の促進及び意識向上を図ることができた。						
課題		・生涯学習活動を推進する生涯学習リーダーの活動が継続して行われるよう、引き続き支援をする必要がある。							
指標名称（単位）		実績値			目標値				
		5年度	6年度	7年度	8年度	10年度			
成果指標		生涯学習推進員（生涯学習リーダー）の人数（人）	22	23	21	30	35		
成果指標		グループ・サークル名簿登録団体数（団体）	96	99	79	140	150		
他市との比較検証									
C 事業コスト	単位：千円		5年度（決算）	6年度（決算）	7年度（決算）	8年度（予算）	7年度事業費内訳		
	事業費 ①		266	286	109	236	合計	108,800 円	
	財源	特定財源	0	0	0	0	報償費	101,200 円	
		一般財源	266	286	109	236	使用料及び賃借料	7,600 円	
	職員人件費 ②		5,141	4,937	4,341	0			
	総事業費（①＋②）		5,407	5,223	4,450	236			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		7年度特定財源名称			
		7年度までの累積事業費		0					
		9年度以降の事業費見込		0					

会計名			公共施設予約案内システム管理事業				担当部		教育部	
一般会計							担当課		生涯学習課	
款	項	目					担当係		施設係	
10	5	1								
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	教育文化							
		基本施策	生涯学習・青少年育成							
		施策の内容	学習活動の支援							
	目的	公共施設の空き状況の確認、利用予約などの手続きがインターネットで可能となるシステムを運用する。				主たる内容	○公共施設予約案内システムの管理			
	位置づけ	関連計画	刈谷市生涯学習推進計画							
		根拠法令	刈谷市公共施設予約案内システムに関する規則、刈谷市教育委員会公共施設予約案内システムに関する規則							
	対象者		対象者を限定せず			事業期間	平成13年度～			
実施方法		■直営 ■委託 □指定管理 □補助・助成 □その他								
BDO 事業実績 計画 実施 V	5年度実績		6年度実績		7年度実績		8年度計画			
	・運用保守管理委託 一般施設等 40施設 学校ｽﾍﾟｰｽ開放施設 21校 ・機器リース（更新）		・運用保守管理委託 一般施設等 40施設 学校ｽﾍﾟｰｽ開放施設 21校 ・機器リース		・運用保守管理委託 一般施設等 40施設 学校ｽﾍﾟｰｽ開放施設 21校 ・機器リース ・料金マスタ改定業務委託 一般施設等 19施設		・運用保守管理委託 一般施設等 40施設 学校ｽﾍﾟｰｽ開放施設 21校 ・機器リース			
	成果	利用者は公共施設を利用するに当たり、予約手続きが容易になるとともに、施設側では使用料の現金収納が減ることで、事務の簡素化及び現金の紛失・盗難のリスクを回避することができた。								
	課題	システムの利用推進を図るため、予約案内システムを広く周知し、システムによる予約申込件数を増加させる。								
	指標名称（単位）				実績値		目標値			
					5年度	6年度	7年度	8年度	10年度	
	成果指標	システムによる施設予約申込件数（件）			112,671	108,676	100,828	110,000	110,000	
	指標									
	他市との比較検証	あいち共同利用型施設予約システム：安城市、知立市はじめ県内28市町 独自システム：碧南市、刈谷市ほか								
	C 事業コスト	単位：千円		5年度（決算）	6年度（決算）	7年度（決算）	8年度（予算）	7年度事業費内訳		
事業費 ①		23,547	14,348	20,097	18,121	合計	20,096,982 円			
財源		特定財源	0	0	0	0	需用費	190,693 円		
		一般財源	23,547	14,348	20,097	18,121	役務費	279,803 円		
職員人件費 ②		3,184	2,907	4,259	3,937	委託料	16,779,246 円			
総事業費（①＋②）		26,731	17,255	24,356	22,058	使用料及び賃借料	2,847,240 円			
建設事業		全体事業費（単位：千円）		0		7年度特定財源名称				
		7年度までの累積事業費		0						
	9年度以降の事業費見込		0							

会計名			市民館施設管理事業				担当部		教育部		
一般会計							担当課		生涯学習課		
款	項	目					担当係		施設係		
10	5	1									
PLAN 事業概要 計画V	総合計画 施策体系	分野	教育文化								
		基本施策	生涯学習・青少年育成								
		施策の内容	学習活動の支援								
	目的	指定管理者により、適切な施設の管理運営を行い、地域活動の活性化及び生涯学習の推進を図る。					主たる内容	〇市民館の管理運営			
		位置づけ									
		関連計画	刈谷市生涯学習推進計画								
		根拠法令	刈谷市コミュニティ施設条例、刈谷市市民館施設維持管理要綱								
		対象者	市民					事業期間	昭和61年度～		
	実施方法	■直営 ■委託 ■指定管理 □補助・助成 □その他									
	BDO 事業実績 計画V	5年度実績		6年度実績		7年度実績		8年度計画			
・施設又は設備の修繕 ・樹木剪定委託 ・指定管理料（全23館）		・施設又は設備の修繕 ・樹木剪定委託 ・指定管理料（全23館）		・施設又は設備の修繕 ・樹木剪定委託 ・指定管理料（全23館）		・施設又は設備の修繕 ・樹木剪定委託 ・指定管理料（全23館）					
成果		指定管理者である各市民館運営委員会からの報告や経年劣化状況を踏まえ、施設の修繕や樹木の剪定を行い、環境美化を図った。									
課題		今後とも地域の実情に応じ、地域に愛される市民館として、適切に施設の管理運営を実施するため、指定管理者である各市民館運営委員会との連携を密にし、施設の状況把握に努める。									
指標名称（単位）				実績値			目標値				
				5年度	6年度	7年度	8年度	10年度			
成果指標		利用者満足度（％）				95.7	95.7	100.0	97.0	97.0	
指標											
他市との比較検証		類似事例なし									
C 事業コスト		単位：千円		5年度（決算）	6年度（決算）	7年度（決算）	8年度（予算）	7年度事業費内訳			
	事業費 ①		28,955	32,202	31,621	39,371	合計 31,621,461 円				
	財源	特定財源	25	829	25	255	需用費 2,936,010 円				
		一般財源	28,930	31,373	31,596	39,116	役務費 223,735 円				
	職員人件費 ②		2,263	2,270	3,184	3,259	委託料 27,603,716 円				
	総事業費（①＋②）		31,218	34,472	34,805	42,630	使用料及び賃借料 858,000 円				
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		7年度特定財源名称					
		7年度までの累積事業費		0		行政財産目的外使用料					
		9年度以降の事業費見込		0							

会計名			公民館運営事業				担当部		教育部		
一般会計							担当課		生涯学習課		
款	項	目					担当係		推進係		
10	5	1									
PLAN 事業概要 計画V	総合計画 施策体系	分野	福祉安心								
		基本施策	共存・協働								
		施策の内容	市民活動・地域活動の推進								
	目的	公民館活動の運営を行い、地区活動の活性化を図り、社会教育の活性化を目指す。				主たる内容	○公民館運営委託 ○備品購入補助 ○公民館連絡協議会補助 ○公民館役員（館長・主事・書記）への謝礼				
		位置づけ									
		関連計画									
		根拠法令	地区公民館備品等整備事業補助金交付要綱								
	対象者	市民				事業期間	～				
	実施方法	☐ 直営 ☒ 委託 ☐ 指定管理 ☒ 補助・助成 ☐ その他									
	BDO 事業実績 計画V	5年度実績		6年度実績		7年度実績		8年度計画			
・公民館運営委託（23地区） ・公民館備品購入補助（21地区） ・公民館連絡協議会補助 ・公民館役員（館長・主事・書記）への謝礼		・中央公民館長表彰 13名 ・県公民館連合会理事会 ・県公民館主事部会代表者会 ・県公民館連合会総会 ・公民館運営委託（23地区） ・公民館備品購入補助 ・公民館連絡協議会補助 ・公民館役員（館長・主事・書記）への謝礼		・中央公民館長表彰 3名 ・県公民館連合会理事会 ・県公民館主事部会代表者会 ・県公民館連合会総会 ・公民館運営委託（23地区） ・公民館備品購入補助 ・公民館連絡協議会補助 ・公民館役員（館長・主事・書記）への謝礼		・中央公民館長表彰 4名 ・県公民館連合会理事会 ・県公民館主事部会代表者会 ・県公民館連合会総会 ・公民館運営委託（23地区） ・公民館備品購入補助 ・公民館連絡協議会補助 ・公民館役員（館長・主事・書記）への謝礼					
成果		・各地区公民館へ事業委託及び備品購入補助を行い、公民館活動の活性化を推進した。									
課題		・各地区の特性を生かした活動が行えるよう、引き続き支援に努める必要がある。									
指標名称（単位）				実績値			目標値				
				5年度	6年度	7年度	8年度	10年度			
活動指標		公民館活動事業数（事業）			133	123	132	160	165		
指標											
他市との比較検証											
C 事業コスト		単位：千円		5年度（決算）	6年度（決算）	7年度（決算）	8年度（予算）	7年度事業費内訳			
	事業費 ①		22,344	22,732	22,875	24,376	合計 22,874,536 円				
	財源	特定財源	0	0	0	0	報償費 8,005,842 円				
		一般財源	22,344	22,732	22,875	24,376	需用費 3,003 円				
	職員人件費 ②		2,609	3,281	4,052	0	役務費 89,700 円				
	総事業費（①+②）		24,953	26,013	26,927	24,376	委託料 11,170,000 円				
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		7年度特定財源名称		使用料及び賃借料 3,650 円			
		7年度までの累積事業費		0				原材料費 18,480 円			
		9年度以降の事業費見込		0				負担金、補助及び交付金 3,583,861 円			

会計名			集会所設置等補助事業				担当部		教育部			
一般会計							担当課		生涯学習課			
款							項目		担当係		施設係	
10							5		1			
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野		教育文化								
		基本施策		生涯学習・青少年育成								
		施策の内容		学習活動の支援								
	目的		集会所の管理に必要な経費の一部を補助することにより、地域活動の活性化及び生涯学習の推進を図る。			主たる内容		○集会所借地料補助 ○集会所運営費補助 ○集会所修繕費等補助				
	位置づけ											
	関連計画		刈谷市生涯学習推進計画									
	根拠法令		集会所設置等補助金交付要綱									
	対象者		市民			事業期間		～				
	実施方法		☐ 直営 ☐ 委託 ☐ 指定管理 ☒ 補助・助成 ☐ その他									
	BDO 事業実績 計画 実施 V	5年度実績		6年度実績		7年度実績		8年度計画				
・集会所運営費補助（33か所） ・集会所借地料補助（9か所） ・集会所修繕費補助		・集会所運営費補助（33か所） ・集会所借地料補助（9か所） ・集会所修繕費等補助		・集会所運営費補助（32か所） ・集会所借地料補助（8か所） ・集会所修繕費等補助		・集会所運営費補助（32か所） ・集会所借地料補助（8か所） ・集会所修繕費等補助						
成果		集会所の維持管理に要する運営費、借地料及び修繕費を補助することにより、地域住民の負担を軽減し、地域活動の拠点の確保に寄与した。										
課題		今後も集会所管理者への制度周知を実施し、集会所の維持に貢献する。										
指標名称（単位）				実績値			目標値					
				5年度	6年度	7年度	8年度	10年度				
活動指標		集会所修繕費補助件数（件）			6	4	2	4	4			
成果指標		補助により運営を維持できた集会所数（箇所）			33	33	32	32	32			
他市との比較検証		類似事例なし										
C 事業コスト		単位：千円		5年度（決算）	6年度（決算）	7年度（決算）	8年度（予算）	7年度事業費内訳				
	事業費 ①		9,101	13,825	8,860	10,720	合計 8,859,951 円					
	財源	特定財源	7	7	7	7	負担金、補助及び交付金 8,859,951 円					
		一般財源	9,094	13,818	8,853	10,713						
	職員人件費 ②		1,036	1,075	1,116	1,143						
	総事業費（①＋②）		10,137	14,900	9,976	11,863						
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		7年度特定財源名称						
		7年度までの累積事業費		0		土地建物貸付収入						
		9年度以降の事業費見込		0								

会計名			市民館施設改修事業				担当部	教育部		
一般会計							担当課	生涯学習課		
款	項	目					担当係	施設係		
10	5	1								
PLAN 事業概要 計画V	総合計画 施策体系	分野	教育文化							
		基本施策	生涯学習・青少年育成							
		施策の内容	学習活動の支援							
	目的	市民館の施設等の老朽化に伴う改修等を行うことで、安全で快適な施設を維持する。				主たる内容	○施設等の改修工事 ○施設等の修繕			
		位置づけ	関連計画 刈谷市生涯学習推進計画、刈谷市公共施設等総合管理計画、刈谷市公共施設維持保全計画							
		根拠法令	刈谷市コミュニティ施設条例、刈谷市市民館施設整備要綱							
		対象者	市民				事業期間	～		
	実施方法	■直営 ■委託 □指定管理 □補助・助成 □その他								
	BDO 事業実績 計画V	5年度実績	(R4繰越分)		6年度実績		7年度実績		8年度計画	
			・外壁、屋根改修 井ヶ谷、今岡、重原、熊市民館		・家具転倒防止対策工事 ・防犯灯設置工事 西境市民館 ・浄水器フィルター取替工事 野田市民館 (R5繰越分) ・外壁、屋根改修 今川、東刈谷市民館		・築地市民館大規模改造工事 設計業務委託		・大規模改造工事設計業務委託 刈谷中部、高津波市民館	
成果			公共施設維持保全計画及び指定管理者である各市民館運営委員会との補修箇所の協議に基づき、施設又は設備の改修設計を行い、適切な施設の維持管理を図った。							
課題			空調機については、各市民館の建設年次及び空調機の設置年次からの経過年数を基に取替計画を策定し、各市民館運営委員会からの故障・不具合報告を踏まえ、計画的に実施する。今後、経年劣化により設備の不具合の増加も予想されることから、常に各市民館の状況を把握していく必要がある。							
指標名称（単位）		実績値			目標値					
					5年度	6年度	7年度	8年度	10年度	
		成果指標	空調機更新率（％）	92.8	92.8	92.8	92.8	93.5		
		成果指標								
他市との比較検証		類似事例なし								
C 事業コスト		単位：千円		5年度（決算）	6年度（決算）	7年度（決算）	8年度（予算）	7年度事業費内訳		
	事業費 ①		38,318	9,390	7,634	13,080	合計	7,634,000 円		
	財源	特定財源	33,868	7,512	0	0	委託料	7,634,000 円		
		一般財源	4,450	1,878	7,634	13,080				
	職員人件費 ②		269	1,394	620	635				
	総事業費（①＋②）		38,587	10,784	8,254	13,715				
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		7年度特定財源名称				
		7年度までの累積事業費		0						
		9年度以降の事業費見込		0						

会計名			市民館施設補修事業				担当部		教育部			
一般会計							担当課		生涯学習課			
款							項目		担当係		施設係	
10							5		1			
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野		教育文化								
		基本施策		生涯学習・青少年育成								
		施策の内容		学習活動の支援								
	目的		市民館の施設等の老朽化に伴う補修等を行うことで、安全で快適な施設を維持する。			主たる内容		○施設等の補修工事 ○施設等の修繕				
	位置づけ	関連計画		刈谷市生涯学習推進計画、刈谷市公共施設等総合管理計画、刈谷市公共施設維持保全計画								
		根拠法令		刈谷市コミュニティ施設条例、刈谷市市民館施設整備要綱								
	対象者		市民			事業期間		～				
	実施方法		■直営 ■委託 □指定管理 □補助・助成 □その他									
	BDO 事業実績 計画 実施 V	5年度実績		6年度実績		7年度実績		8年度計画				
						東境市民館駐車場ライン及び一部AS舗装各修繕						
成果		公共施設維持保全計画及び指定管理者である各市民館運営委員会との補修箇所の協議に基づき、施設又は設備の修繕を行い、適切な施設の維持管理を行った。										
課題		各市民館からの要望に対して予算や工期の問題で年度内に対応しきれないことがある。大規模改修の計画を踏まえ、各市民館の状況を把握し、補修の検討をしていく必要がある。										
指標名称（単位）				実績値			目標値					
				5年度	6年度	7年度	8年度	10年度				
成果指標		利用者満足度（％）			95.7	95.7	100.0	97.0	97.0			
活動指標												
他市との比較検証		類似事例なし										
C 事業コスト		単位：千円		5年度（決算）	6年度（決算）	7年度（決算）	8年度（予算）	7年度事業費内訳				
	事業費 ①		0	0	1,149	0	合計	1,148,950 円				
	財源	特定財源	0	0	0	0	需用費	1,148,950 円				
		一般財源	0	0	1,149	0						
	職員人件費 ②		0	0	537	0						
	総事業費（①＋②）		0	0	1,686	0						
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0	7年度特定財源名称							
		7年度までの累積事業費		0								
		9年度以降の事業費見込		0								

会計名			加藤与五郎顕彰科学教育振興基金積立事業				担当部		教育部										
一般会計							担当課		生涯学習課										
款							項目		担当係		推進係								
10							5		1										
PLAN 事業概要 計画V	総合計画 施策体系	分野		教育文化															
		基本施策		生涯学習・青少年育成															
		施策の内容		学習機会の充実															
	目的		今後必要となる加藤与五郎博士の顕彰及び科学教育の振興に係る資金として、基金を積み立てる。			主たる内容		加藤与五郎顕彰科学教育振興基金を積み立てる。											
	位置づけ	関連計画																	
		根拠法令		刈谷市加藤与五郎顕彰科学教育振興基金条例															
	対象者		対象者を限定せず			事業期間		令和5年度～											
	実施方法		■直営 □委託 □指定管理 □補助・助成 □その他																
	BDO 事業実績 計画V	5年度実績		6年度実績		7年度実績		8年度計画											
		・寄附金 40,000,000円 ・運用収入 73,717円		・運用収入 195,558円		・運用収入 491,388円		運用収入を基金に積み立てる。											
成果		・運用収入を積み立てた。																	
課題																			
指標名称（単位）				実績値			目標値												
				5年度			6年度			7年度			8年度			10年度			
活動指標																			
活動指標																			
他市との比較検証																			
C 事業コスト		単位：千円		5年度（決算）		6年度（決算）		7年度（決算）		8年度（予算）		7年度事業費内訳							
	事業費 ①		40,074		196		491		588		合計 491,388 円								
	財源	特定財源		74		196		492		588		積立金 491,388 円							
		一般財源		40,000		0		△1		0									
	職員人件費 ②		269		279		248		0										
	総事業費（①＋②）		40,343		475		739		588										
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		7年度特定財源名称													
		7年度までの累積事業費		0		加藤与五郎顕彰科学教育振興基金積立金利子													
		9年度以降の事業費見込		0															

会計名			ハツラツかりやっ子育成支援事業				担当部		教育部						
一般会計							担当課		生涯学習課						
款	項	目					担当係		青少年係						
10	5	5													
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	教育文化												
		基本施策	生涯学習・青少年育成												
		施策の内容	青少年の健全育成												
	目的	青少年に自然体験、地域活動、異世代交流等の多様な活動の機会を提供し、地域社会を基盤とした青少年健全育成の環境づくりを推進する。				主たる内容	複数の非営利団体が連携して実施する青少年健全育成に大きな効果が得られる先駆的な事業に対して、1事業10万円を上限として補助金を交付する。								
		位置づけ													
		関連計画													
	根拠法令														
	対象者	市民				事業期間	平成16年度～								
	実施方法	■直営 □委託 □指定管理 ■補助・助成 □その他													
	BDO 事業実績 計画 実施 V	5年度実績	採択1事業 ・「どろんこ案山子コンテスト」（どろん子道場等）		6年度実績	採択1事業 ・「『こどもかいぎ』上映会と子育て交流会」（刈谷ミライテラス等）		7年度実績	採択0事業		8年度計画	応募3事業			
成果			補助金を交付することにより、地域社会を基盤とした多様な活動の機会を提供し、家庭や学校及び地域が一体となってハツラツとした子どもを育む環境づくりを支援することができた。												
課題			新型コロナウイルス感染症が第5類に移行し、各種イベントが再開される中、事業の応募件数の増加を図るため、応募要件の緩和や、効果的な広報を検討する必要がある。												
指標名称（単位）				実績値			目標値								
				5年度	6年度	7年度	8年度	10年度							
成果指標		補助対象採択事業数（事業）			1	1	0	3	3						
成果指標		参加者数（人）			760	114	0	700	700						
他市との比較検証															
C 事業コスト		単位：千円		5年度（決算）	6年度（決算）	7年度（決算）	8年度（予算）	7年度事業費内訳							
		事業費 ①		68	69	0	300	合計 0 円							
	財源	特定財源	0	0	0	0									
		一般財源	68	69	0	300									
	職員人件費 ②		460	239	413	847									
	総事業費（①＋②）		528	308	413	1,147									
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0	7年度特定財源名称										
		7年度までの累積事業費		0											
9年度以降の事業費見込		0													

会計名			キッズクラブ事業				担当部		教育部			
一般会計							担当課		生涯学習課			
款							項目		担当係		青少年係	
10							5		5			
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	教育文化									
		基本施策	生涯学習・青少年育成									
		施策の内容	青少年の健全育成									
	目的	週末に子どもの安心・安全な活動拠点を設け、遊び、文化活動等の体験活動を通じ、子どもが心豊かで健やかに育まれる環境づくりを推進する。				主たる内容	小・中学生を対象に市内3か所の生涯学習センターでキッズクラブを開設し、子どもたちが安心して集うことができる居場所を提供する。 ○開催場所 ・たんぽぽ 南部生涯学習センター ・アイリス 総合文化センター ・かきつばた 北部生涯学習センター ○開催日 6月から3月までの土曜日					
		位置づけ										
		関連計画										
		根拠法令	刈谷市キッズクラブ事業実施要綱									
	対象者		市内在住の小・中学生			事業期間		平成17年度～				
	実施方法		☐ 直営 ☒ 委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助・助成 ☐ その他									
	BDO 事業実績 計画 実施 V	5年度実績		6年度実績		7年度実績		8年度計画				
【参加延べ人数】 ・たんぽぽ 243人 ・アイリス 324人 ・かきつばた 113人 合 計 680人		【参加延べ人数】 ・たんぽぽ 178人 ・アイリス 524人 ・かきつばた 126人 合 計 828人		【参加延べ人数】 ・たんぽぽ 234人 ・アイリス 499人 ・かきつばた 90人 合 計 823人		【参加予定人数】 ・たんぽぽ 240人 ・アイリス 500人 ・かきつばた 100人 合 計 840人						
成果		創作活動、自然体験など、様々な活動を通して地域住民や異世代交流を図るとともに、週末の安心・安全な居場所を提供することができた。										
課題		当日先着順のプログラムへの参加者数が減少傾向にあるため、プログラム内容や広報の再検討が必要である。										
指標名称（単位）				実績値			目標値					
				5年度	6年度	7年度	8年度	10年度				
活動指標		開催数（回）			60	61	59	60	60			
成果指標		参加者数（人）			680	828	823	840	840			
他市との比較検証		高浜市は1校のみPTA土曜クラブに委託し、家庭科、書道、剣道、ちぎり絵、フルートの5クラブ制で開催している。										
C 事業コスト		単位：千円		5年度（決算）	6年度（決算）	7年度（決算）	8年度（予算）	7年度事業費内訳				
	事業費 ①		2,851	2,966	3,134	3,305	合計 3,134,343 円					
	財源	特定財源	1,069	1,182	1,262	1,521	委託料 3,134,343 円					
		一般財源	1,782	1,784	1,872	1,784						
	職員人件費 ②		1,995	1,513	1,240	1,270						
	総事業費（①+②）		4,846	4,479	4,374	4,575						
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		7年度特定財源名称						
		7年度までの累積事業費		0		地域学校協働活動推進事業費補助金（県）						
		9年度以降の事業費見込		0								

会計名			中高生の居場所づくり事業				担当部		教育部		
一般会計							担当課		生涯学習課		
款	項	目					担当係		青少年係		
10	5	5									
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	教育文化								
		基本施策	生涯学習・青少年育成								
		施策の内容	青少年の健全育成								
	目的	中高生が放課後等に気軽に集まることができる居場所を提供する。また、中高生自らイベントの企画運営に携わることができる機会を提供することにより、中高生の自立を支援する。				主たる内容	放課後等に気軽に立ち寄り、学習や交流ができる中高生のための居場所を提供し、声かけや悩み等の相談対応、自主的な活動への支援を行う。また、大学生をピアカウンセラー（仲間として相談に応じる人）や学習支援スタッフとして配置する。 ○場所 総合文化センター ○開催日 毎週火・木曜日 16時～21時				
		位置づけ									
		関連計画	刈谷市子ども・子育て支援事業計画								
		根拠法令	子ども・若者育成支援推進法								
	対象者	市内在住または在学の中高生				事業期間	平成22年度～				
	実施方法	☐ 直営 ☒ 委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助・助成 ☐ その他									
	BDO 事業実績 計画 実施 V	5年度実績		6年度実績		7年度実績		8年度計画			
・利用者数 延べ371人 ・イベント参加者数 多目的ホール開放はじめ6事業 延べ166人		利用者数 延べ526人 ・イベント参加者数 多目的ホール開放はじめ6事業 延べ173人		利用者数 延べ680人 ・イベント参加者数 多目的ホール開放はじめ6事業 延べ111人		利用者数 延べ600人 ・イベント参加者数 多目的ホール開放はじめ6事業 延べ190人					
成果		仲間同士や大学生スタッフとの交流を深める中で、中高生が気軽に立寄ることができる居場所づくりができた。学習支援を併設し、利用目的を増やしたことにより、利用の活性化を図ることができた。また、テスト期間以外も創作活動室を開放した。									
課題		中高生の自主性や社会性を育む自主活動につながる工夫が必要である。また、コロナ禍を経て、利用者が減少しているため、事業の周知をより行う必要がある。									
指標名称（単位）				実績値			目標値				
				5年度	6年度	7年度	8年度	10年度			
成果指標		延べ利用者数（人）				371	526	680	600	600	
成果指標		中高生が関わったイベントの回数（回）				17	18	18	18	18	
他市との比較検証		碧南市：類似事業の実施（「ららくるにしばた」学習支援）									
C 事業コスト		単位：千円		5年度（決算）	6年度（決算）	7年度（決算）	8年度（予算）	7年度事業費内訳			
	事業費 ①		3,020	3,092	3,549	3,397	合計	3,549,487 円			
	財源	特定財源	679	770	785	788	委託料	3,549,487 円			
		一般財源	2,341	2,322	2,764	2,609					
	職員人件費 ②		1,765	876	1,323	1,693					
	総事業費（①＋②）		4,785	3,968	4,872	5,090					
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		7年度特定財源名称					
		7年度までの累積事業費		0		地域学校協働活動推進事業費補助金（県）					
9年度以降の事業費見込		0									

会計名			青年講座開催事業				担当部	教育部	
一般会計							担当課	生涯学習課	
款	項	目					担当係	青少年係	
10	5	5							
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	教育文化						
		基本施策	生涯学習・青少年育成						
		施策の内容	青少年の健全育成						
	目的	青年層に多様な学習・体験活動の機会の場を提供し、生涯学習の推進を図る。				主たる内容	碧海5市在住または市内在勤・在学の18～39歳を対象に、文化・芸術・福祉・スポーツなどの各種講座を開催する。		
	位置づけ	関連計画							
		根拠法令							
		対象者	18～39歳の青年層			事業期間	平成7年度～		
	実施方法	■直営 □委託 □指定管理 □補助・助成 □その他							
BDO 事業実績 計画 実施 V	5年度実績		6年度実績		7年度実績		8年度計画		
	・青年講座3期18回 第1期 旅をもっと楽しもう！初級トラベル英会話 8回 第2期 心と身体を整える発酵食とパン 6回 第3期 レジンで世界にひとつのアクセサリを作ろう♪ 4回 受講生延べ121人		・青年講座3期11回 第1期 夜に楽しむスイーツパーティー！アフタヌーンティー講座 4回 第2期 手縫いで作る革雑貨講座 4回 第3期 大人もハマる！ボードゲームの世界 3回 受講生延べ149人		・青年講座3期12回 第1期 すぐ作れる！簡単おつまみ講座 3回 第2期 選んで作る！大人可愛いアクセサリ講座 4回 第3期 ころも・からだ・ととのえヨガ 5回 受講生延べ102人		・青年講座3期9回		
	成果	青年層に多様な学習・体験活動の機会の場を提供することができた。							
	課題	受講者数の増加を目指し、青年層にとって魅力的な講座の内容について検討する必要がある。							
	指標名称（単位）				実績値		目標値		
					5年度	6年度	7年度	8年度	10年度
	活動指標	募集案内配布事業所数（か所）			32	32	32	32	32
	成果指標	受講者数（人）			23	47	29	45	45
	他市との比較検証								
	C 事業コスト	単位：千円		5年度（決算）	6年度（決算）	7年度（決算）	8年度（予算）	7年度事業費内訳	
事業費 ①		238	154	158	783	合計	157,862 円		
財源		特定財源	14	64	12	0	報償費	96,000 円	
		一般財源	224	90	146	783	需用費	2,312 円	
職員人件費 ②		2,455	2,628	2,729	1,693	使用料及び賃借料	59,550 円		
総事業費（①＋②）		2,693	2,782	2,887	2,476				
建設事業		全体事業費（単位：千円）		0		7年度特定財源名称			
		7年度までの累積事業費		0		青年講座受講料			
		9年度以降の事業費見込		0					

会計名			二十歳の集い開催事業				担当部	教育部		
一般会計							担当課	生涯学習課		
款	項	目					担当係	青少年係		
10	5	5								
PLAN 事業概要 計画V	総合計画 施策体系	分野	教育文化							
		基本施策	生涯学習・青少年育成							
		施策の内容	青少年の健全育成							
	目的	刈谷市二十歳の集い実行委員会との共催で二十歳の集いを開催し、二十歳の門出を祝福するとともに、大人になったことを自覚し、自ら生き抜こうとする意欲の向上を図る。				主たる内容	二十歳になる者の中から実行委員会を組織し、式の企画及び運営を行い、心に残る二十歳の集いを開催する。			
		位置づけ	関連計画							
		根拠法令								
		対象者	二十歳の者		事業期間		～			
	実施方法	■直営 ■委託 □指定管理 □補助・助成 □その他								
	BDO 事業実績 計画V	5年度実績		6年度実績		7年度実績		8年度計画		
		開催日 令和6年1月7日 会場 総合文化センター 対象者数 1,732名 参加者数 1,200名 ※2部制で開催		開催日 令和7年1月12日 会場 総合文化センター 対象者数 1,655名 参加者数 1,155名 ※2部制で開催		開催日 令和8年1月11日 会場 総合文化センター 対象者数 1,580名 参加者数 1,130名 ※2部制で開催		開催日 令和9年1月10日 会場 総合文化センター 対象者数 約1,700名		
成果		二十歳の集いを行うことにより、参加者が恩師や旧友らと話し合う機会となり、大人として今後どのように生きていくかを語るきっかけとなった。 実行委員会により自主的な式の企画・運営を行うことにより、社会参加の機会を提供することができた。								
課題		実行委員の募集について学校の推薦に頼るところが多く、公募及び紹介による確保に移行できるよう実行委員会の魅力発信に検討を要する。								
指標名称（単位）				実績値		目標値				
				5年度	6年度	7年度	8年度	10年度		
成果指標		協力ボランティア(実行委員OB・次年度実行委員)の参加人数(人)				24	26	25	40	40
成果指標		二十歳の集い参加率(%)				69.3	69.8	71.5	72	72
他市との比較検証		碧南市、安城市、知立市、高浜市、東浦町は実行委員会を組織し、実施している。								
C 事業コスト		単位：千円		5年度(決算)	6年度(決算)	7年度(決算)	8年度(予算)	7年度事業費内訳		
	事業費①		4,106	4,282	4,468	4,992	合計 4,468,212 円			
	財源	特定財源	0	0	0	0	委託料 3,887,942 円			
		一般財源	4,106	4,282	4,468	4,992	使用料及び賃借料 580,270 円			
	職員人件費②		5,371	5,575	5,788	5,080				
	総事業費(①+②)		9,477	9,857	10,256	10,072				
	建設事業	全体事業費(単位：千円)		0		7年度特定財源名称				
		7年度までの累積事業費		0						
		9年度以降の事業費見込		0						

会計名			施設管理事業				担当部		教育部			
一般会計							担当課		生涯学習課			
款							項目		担当係		施設係	
10							5		10			
PLAN 事業概要 計画V	総合計画 施策体系	分野		教育文化								
		基本施策		生涯学習・青少年育成								
		施策の内容		学習活動の支援								
	目的	指定管理者により適切に施設の管理運営を行い、市民の福祉の増進を図る。				主たる内容	〇市民休暇村の管理運営					
	位置づけ	関連計画										
		根拠法令		刈谷市民休暇村条例、刈谷市民休暇村条例施行規則								
	対象者		市内在住・在勤・在学者、下條村民			事業期間		平成10年度～				
実施方法		☐ 直営 ☐ 委託 ☒ 指定管理 ☐ 補助・助成 ☐ その他										
BDO 事業実績 計画V	5年度実績		6年度実績		7年度実績		8年度計画					
	・指定管理者による管理運営 ・ウェブ予約の導入 ・予約の抽選制の導入		・指定管理者による管理運営		・指定管理者による管理運営		・指定管理者による管理運営					
	成果		指定管理者により適切に施設の管理運営を行った。									
	課題		指定管理者の管理運営に対するモニタリング、指導、助言を行い、リピーターを大切にしつつ、リニューアルを契機とした新規利用者の獲得に努めるなど、客室稼働率の拡大を図る必要がある。									
	指標名称（単位）				実績値			目標値				
					5年度	6年度	7年度	8年度	10年度			
	成果指標	年間客室稼働率（％）		85.3	88.2	91.1	92.0	94.0				
	成果指標	ふれ愛パーク利用者数（人）		1,247	1,161	1,190	1,200	1,500				
	他市との比較検証		尾張旭市「尾張あさひ苑（阿智村）」 名古屋市「おんたけ休暇村（王滝村）」									
	C 事業コスト	単位：千円		5年度（決算）	6年度（決算）	7年度（決算）	8年度（予算）	7年度事業費内訳				
事業費①		112,636	104,932	109,609	110,933	合計 109,608,949 円						
財源		特定財源	1	1	2	11	役務費 87,324 円					
		一般財源	112,635	104,931	109,607	110,922	委託料 103,215,238 円					
職員人件費②		1,189	1,473	1,612	1,651	使用料及び賃借料 3,490,907 円						
総事業費（①+②）		113,825	106,405	111,221	112,584	備品購入費 364,100 円						
建設事業		全体事業費（単位：千円）		0	7年度特定財源名称		負担金、補助及び交付金 2,451,380 円					
		7年度までの累積事業費		0	行政財産目的外使用料							
		9年度以降の事業費見込		0								

会計名			施設補修事業				担当部	教育部	
一般会計							担当課	生涯学習課	
款	項	目					担当係	施設係	
10	5	10							
PLAN 事業概要 計画V	総合計画 施策体系	分野	教育文化						
		基本施策	生涯学習・青少年育成						
		施策の内容	学習活動の支援						
	目的	刈谷市民休暇村の設備を補修することにより、利用者にとって安全で快適な施設の維持を図る。				主たる内容	○施設又は整備の修繕		
	位置づけ	関連計画							
		根拠法令	刈谷市民休暇村条例、刈谷市民休暇村条例施行規則						
	対象者		市内在住・在勤・在学者、下條村民			事業期間	～		
実施方法		☐ 直営 ☒ 委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助・助成 ☐ その他							
BDO 事業実績 計画V	5年度実績		6年度実績		7年度実績		8年度計画		
			・畳入替修繕 ・ふれ愛パーク遊戯施設撤去工事		・ふれ愛パーク芝復旧工事 ・非常用発電設備修繕				
	成果		老朽化した施設又は設備を修繕し、施設を良好な状態に保ち、安全で快適な施設を維持することができた。						
	課題		施設又は設備の老朽化に伴い、計画的かつ適切に修繕を行っていく必要がある。						
	指標名称（単位）				実績値		目標値		
					5年度	6年度	7年度	8年度	10年度
	活動指標	年間客室稼働率（％）			85.3	88.2	91.1	82.0	84.0
	活動指標	ふれ愛パーク利用者数（人）			1,247	1,161	1,190	1,200	1,500
	他市との比較検証		尾張旭市「尾張あさひ苑（阿智村）」 名古屋市「おんたけ休暇村（王滝村）」						
	C 事業コスト	単位：千円		5年度（決算）	6年度（決算）	7年度（決算）	8年度（予算）	7年度事業費内訳	
事業費 ①		0	3,933	3,799	0	合計	3,799,400 円		
財源		特定財源	0	0	0	0	需用費	499,400 円	
		一般財源	0	3,933	3,799	0	工事請負費	3,300,000 円	
職員人件費 ②		0	995	1,116	0				
総事業費（①＋②）		0	4,928	4,915	0				
建設事業		全体事業費（単位：千円）		0	7年度特定財源名称				
		7年度までの累積事業費		0					
	9年度以降の事業費見込		0						

会計名			南部生涯学習センター施設管理事業				担当部		教育部					
一般会計							担当課		生涯学習課					
款							項		目		担当係		施設係	
10							5			11				
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野		教育文化										
		基本施策		生涯学習・青少年育成										
		施策の内容		学習活動の支援										
	目的		指定管理者により、適切に施設の管理運営を行い、安全で快適に利用できる生涯学習施設を提供する。				主たる内容		○南部生涯学習センターの管理運営					
	位置づけ	関連計画		刈谷市生涯学習推進計画										
		根拠法令		刈谷市生涯学習センター条例、刈谷市生涯学習センター条例施行規則										
	対象者		対象者を限定せず				事業期間		平成13年度～					
	実施方法		■直営 ■委託 ■指定管理 □補助・助成 □その他											
	BDO 事業実績 計画 実施 V	5年度実績		6年度実績		7年度実績		8年度計画						
		・指定管理者による管理運営		・指定管理者による管理運営		・指定管理者による管理運営		・指定管理者による管理運営						
成果		市民の生涯学習の拠点として、指定管理者により適切に施設の運営管理を行い、生涯学習を推進した。												
課題		利用者の意見を反映し、一層の利用率の向上を図り、より良い施設運営を継続する。												
指標名称（単位）				実績値			目標値							
				5年度	6年度	7年度	8年度	10年度						
成果指標		南部生涯学習センター稼働率（％）			37.6	37.8	38.1	39.0	40.0					
成果指標		南部生涯学習センター利用者数（人）			41,118	45,401	46,695	47,000	47,000					
他市との比較検証														
C 事業コスト		単位：千円		5年度（決算）	6年度（決算）	7年度（決算）	8年度（予算）	7年度事業費内訳						
	事業費 ①		91,977	100,881	106,928	116,010	合計	106,927,832 円						
	財源	特定財源	8,054	7,788	7,996	7,924	需用費	20,383,201 円						
		一般財源	83,923	93,093	98,932	108,086	役務費	111,990 円						
	職員人件費 ②		1,458	1,513	1,158	1,185	委託料	85,187,738 円						
	総事業費（①＋②）		93,435	102,394	108,086	117,195	使用料及び賃借料	1,244,903 円						
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		7年度特定財源名称								
		7年度までの累積事業費		0		南部生涯学習センター使用料								
		9年度以降の事業費見込		0		行政財産目的外使用料 土地建物貸付収入								

会計名			北部生涯学習センター施設管理事業				担当部		教育部	
一般会計							担当課		生涯学習課	
款	項	目					担当係		施設係	
10	5	11								
PLAN 事業概要 計画V	総合計画 施策体系	分野	教育文化							
		基本施策	生涯学習・青少年育成							
		施策の内容	学習活動の支援							
	目的	指定管理者により、適切に施設の管理運営を行い、安全で快適に利用できる生涯学習施設を提供する。				主たる内容	○北部生涯学習センターの管理運営			
	位置づけ	関連計画	刈谷市生涯学習推進計画							
		根拠法令	刈谷市生涯学習センター条例、刈谷市生涯学習センター条例施行規則							
	対象者		対象者を限定せず				事業期間	平成20年度～		
実施方法		■直営 □委託 ■指定管理 □補助・助成 □その他								
BDO 事業実績 計画V	5年度実績		6年度実績		7年度実績		8年度計画			
	・指定管理者による管理運営		・指定管理者による管理運営		・指定管理者による管理運営		・指定管理者による管理運営			
	成果		市民の生涯学習の拠点として、指定管理者により適切に施設の管理運営を行い、生涯学習を推進した。							
	課題		利用者の意見を反映し、一層の利用率の向上を図り、より良い施設運営を継続する。							
	指標名称（単位）				実績値			目標値		
					5年度	6年度	7年度	8年度	10年度	
	成果指標	北部生涯学習センター稼働率（％）		32.1	34.6	33.1	35.0	37.5		
	成果指標	北部生涯学習センター利用者数（人）		64,210	64,846	63,074	65,000	70,000		
	他市との比較検証	知立市文化会館 花しょうぶホール 293席 安城市アンフォーレ ホール 255席 碧南市芸術文化ホール エメラルドホール 452席								
	C 事業コスト	単位：千円		5年度（決算）	6年度（決算）	7年度（決算）	8年度（予算）	7年度事業費内訳		
事業費 ①		109,791	118,736	114,682	122,198	合計	114,681,904 円			
財源		特定財源	15,554	15,906	15,408	15,902	役務費	72,431 円		
		一般財源	94,237	102,830	99,274	106,296	委託料	114,609,473 円		
職員人件費 ②		767	1,035	1,158	1,185					
総事業費（①＋②）		110,558	119,771	115,840	123,383					
建設事業		全体事業費（単位：千円）		0		7年度特定財源名称				
		7年度までの累積事業費		0		北部生涯学習センター使用料 行政財産目的外使用料				
		9年度以降の事業費見込		0						

会計名			北部生涯学習センター施設補修事業				担当部		教育部	
一般会計							担当課		生涯学習課	
款	項	目					担当係		施設係	
10	5	11								
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	教育文化							
		基本施策	生涯学習・青少年育成							
		施策の内容	学習活動の支援							
	目的	北部生涯学習センターの施設又は設備の老朽化に伴う補修を行うことで、安全で快適な施設を維持する。				主たる内容	○施設又は設備の修繕			
	位置づけ	関連計画	刈谷市生涯学習推進計画、刈谷市公共施設等総合管理計画、刈谷市公共施設維持保全計画							
		根拠法令	刈谷市生涯学習センター条例、刈谷市生涯学習センター条例施行規則							
	対象者		対象者を限定せず				事業期間		～	
実施方法		■直営 ■委託 □指定管理 □補助・助成 □その他								
BDO 事業実績 計画 実施 V	5年度実績		6年度実績		7年度実績		8年度計画			
					・浄化槽ばっ気用送風機取替		施設改修事業へ移行			
	成果		老朽化した施設又は設備を改修し、施設を良好な状態に保ち、安全で快適な施設を維持することができた。							
	課題		県が平成2年に開館した施設（愛知県刈谷勤労福祉会館）の譲渡を受け、市が生涯学習センターとして転用利用している施設であるため、施設又は設備の老朽化により不具合が生じている。適切な時期に予防保全を実施し、長寿命化を図る必要がある。							
	指標名称（単位）				実績値			目標値		
					5年度	6年度	7年度	8年度	10年度	
	活動指標	北部生涯学習センター稼働率（％）			32.1	34.6	33.1	35.0	35.0	
	活動指標	北部生涯学習センター利用者数（人）			64,210	64,846	63,074	65,000	65,000	
	他市との比較検証		知立市文化会館 花しょうぶホール 293席 安城市アンフォーレ ホール 255席 碧南市芸術文化ホール エメラルドホール 452席							
	C 事業コスト	単位：千円		5年度（決算）	6年度（決算）	7年度（決算）	8年度（予算）	7年度事業費内訳		
事業費 ①		0	0	1,276	0	合計	1,276,000 円			
財源		特定財源	0	0	0	0	工事請負費	1,276,000 円		
		一般財源	0	0	1,276	0				
職員人件費 ②		0	0	744	0					
総事業費（①＋②）		0	0	2,020	0					
建設事業		全体事業費（単位：千円）		0		7年度特定財源名称				
		7年度までの累積事業費		0						
	9年度以降の事業費見込		0							

会計名			南部生涯学習センター施設改修事業				担当部		教育部	
一般会計							担当課		生涯学習課	
款	項	目					担当係		施設係	
10	5	11								
PLAN 事業概要 計画V	総合計画 施策体系	分野	教育文化							
		基本施策	生涯学習・青少年育成							
		施策の内容	学習活動の支援							
	目的	南部生涯学習センターの施設又は設備の老朽化に伴う改修等を行うことで、安全で快適な施設を維持する。				主たる内容	○施設又は設備の改修工事 ○施設又は設備の修繕			
	位置づけ	関連計画	刈谷市生涯学習推進計画、刈谷市公共施設等総合管理計画、刈谷市公共施設維持保全計画							
		根拠法令	刈谷市生涯学習センター条例、刈谷市生涯学習センター条例施行規則							
対象者		対象者を限定せず			事業期間		～			
実施方法		■直営 ■委託 □指定管理 □補助・助成 □その他								
BDO 事業実績 計画V	5年度実績		6年度実績		7年度実績		8年度計画			
	・焼成室内排風機修繕 ・館内室名サイン改修 ・KARIYA FREE Wi-Fi整備 ・多目的ホール音響設備改修		・冷温水発生器（1号機）操作盤改修 ・南玄関自動ドア部品取替修繕		・冷温水発生器（2号機）操作盤改修 ・高圧受電設備改修工事 ・多目的トイレオストメイト設備設置工事 ・自動制御装置制御コントローラー交換工事		・中央監視装置UPS等修繕 ・エレベーターリニューアル工事設計業務委託（R7繰越分） ・冷温水発生機改修工事			
	成果	老朽化した施設又は設備を改修し、施設を良好な状態に保ち、安全で快適な施設を維持することができた。								
	課題	施設又は設備の老朽化に伴い、計画的かつ適切に改修を行っていく必要がある。								
	指標名称（単位）				実績値		目標値			
					5年度	6年度	7年度	8年度	10年度	
	成果指標	南部生涯学習センター稼働率（％）		37.6		37.8	38.1	39.0	40.0	
	成果指標	南部生涯学習センター利用者数（人）		41,118		45,401	46,695	47,000	47,000	
	他市との比較検証									
	C 事業コスト	単位：千円		5年度（決算）	6年度（決算）	7年度（決算）	8年度（予算）	7年度事業費内訳		
事業費 ①		9,795	6,347	37,616	20,780	合計	37,615,600 円			
財源		特定財源	0	0	18,000	18,000	工事請負費	37,615,600 円		
		一般財源	9,795	6,347	19,616	2,780				
職員人件費 ②		1,611	1,115	1,240	1,270					
総事業費（①＋②）		11,406	7,462	38,856	22,050					
建設事業		全体事業費（単位：千円）		0		7年度特定財源名称				
		7年度までの累積事業費		0		公共施設維持保全基金繰入金				
		9年度以降の事業費見込		0						

会計名			北部生涯学習センター施設改修事業				担当部	教育部	
一般会計							担当課	生涯学習課	
款	項	目					担当係	施設係	
10	5	11							
PLAN 事業概要 計画V	総合計画 施策体系	分野	教育文化						
		基本施策	生涯学習・青少年育成						
		施策の内容	学習活動の支援						
	目的	北部生涯学習センターの施設又は設備の老朽化に伴う改修等を行うことで、安全で快適な施設を維持する。				主たる内容	○施設又は設備の改修等		
	位置づけ	関連計画	刈谷市生涯学習推進計画、刈谷市公共施設等総合管理計画、刈谷市公共施設維持保全計画						
		根拠法令	刈谷市生涯学習センター条例、刈谷市生涯学習センター条例施行規則						
	対象者		対象者を限定せず			事業期間	～		
実施方法		■直営 ■委託 □指定管理 □補助・助成 □その他							
BDO 事業実績 計画V	5年度実績		6年度実績		7年度実績		8年度計画		
	・浄化槽調整槽用送風機取替 ・浄化槽自動微細目スクリーン取替 ・主変電所等電気整備改修 ・自動制御装置煤煙濃度計取替 ・自動制御装置バルブモーター取替		・直流電源装置等改修 ・浄化槽流入ポンプ取替 ・自動制御装置ダンパモーター取替		北部生涯学習センター施設補修事業へ移行		・浄化槽調整槽用送風機取替 ・外壁劣化診断 ・太陽光発電システム蓄電池設備改修（R7繰越分） ・中央監視装置改修		
	成果	老朽化した施設又は設備を改修し、施設を良好な状態に保ち、安全で快適な施設を維持することができた。							
	課題	県が平成2年に開館した施設（愛知県刈谷勤労福祉会館）の譲渡を受け、市が生涯学習センターとして転用利用している施設であるため、施設又は設備の老朽化により不具合が生じている。適切な時期に予防保全を実施し、長寿命化を図る必要がある。							
	指標名称（単位）			実績値			目標値		
				5年度	6年度	7年度	8年度	10年度	
	成果指標	北部生涯学習センター稼働率（％）		32.1	34.6	33.1	35.0	37.5	
	成果指標	北部生涯学習センター利用者数（人）		64,210	64,846	63,074	65,000	70,000	
	他市との比較検証		知立市文化会館　花しょうぶホール　293席 安城市アンフォーレ　ホール　255席 碧南市芸術文化ホール　エメラルドホール　452席						
	C 事業コスト	単位：千円		5年度（決算）	6年度（決算）	7年度（決算）	8年度（予算）	7年度事業費内訳	
事業費　①		5,634	48,396	0	20,520	合計　0　円			
財源		特定財源	0	0	0	10,120			
		一般財源	5,634	48,396	0	10,400			
職員人件費　②		1,381	1,035	0	1,270				
総事業費（①＋②）		7,015	49,431	0	21,790				
建設事業		全体事業費（単位：千円）		0		7年度特定財源名称			
		7年度までの累積事業費		0					
	9年度以降の事業費見込		0						

会計名			施設管理事業				担当部		教育部			
一般会計							担当課		生涯学習課			
款							項目		担当係		施設係	
10							5		12			
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	教育文化									
		基本施策	生涯学習・青少年育成									
		施策の内容	学習活動の支援									
	目的	指定管理者により、適切に総合文化センターの管理運営を行い、生涯学習の機会及び文化芸術活動の発表の場を提供する。				主たる内容	○総合文化センターの管理運営					
	位置づけ	関連計画	刈谷市生涯学習推進計画、刈谷市文化振興基本計画									
		根拠法令	刈谷市総合文化センター条例、刈谷市民ホール条例、刈谷市生涯学習センター条例ほか									
	対象者		対象者を限定せず				事業期間	平成21年度～				
実施方法		■直営 ■委託 ■指定管理 □補助・助成 □その他										
BDO 事業実績 計画 V	5年度実績		6年度実績		7年度実績		8年度計画					
	・指定管理者による管理運営 ・施設又は設備の修繕		・指定管理者による管理運営 ・施設又は設備の修繕（R5繰越分） ・大ホール調光盤内調光ユニット交換修繕		・指定管理者による管理運営 ・施設又は設備の修繕		・指定管理者による管理運営 ・施設又は設備の修繕					
	成果	生涯学習及び文化芸術の拠点として、指定管理者により適切に施設の管理運営を行い、生涯学習の推進及び文化芸術の振興に寄与した。										
	課題	指定管理者により適切に施設の管理運営が行われるようモニタリングを実施し、指定管理者への指導等を行っていく必要がある。										
	指標名称（単位）				実績値			目標値				
					5年度	6年度	7年度	8年度	10年度			
	成果指標	大ホール稼働率（％）		84.1		81.8	85.5	88.0	90.0			
	成果指標	総合文化センターに対する満足度（％）		97.9		98.5	92.0	98.0	98.0			
	他市との比較検証	知立市文化会館 かきつばたホール 1,004席 安城市民会館 サルビアホール 1,200席 碧南市芸術文化ホール エメラルドホール 452席 岡崎市民会館 あおいホール 1,100席										
	C 事業コスト	単位：千円		5年度（決算）	6年度（決算）	7年度（決算）	8年度（予算）	7年度事業費内訳				
事業費 ①		536,678	562,634	537,320	583,250	合計 537,320,077 円						
財源		特定財源	119,478	117,376	132,065	136,521	需用費 93,669,991 円					
		一般財源	417,200	445,258	405,255	446,729	役務費 965,686 円					
職員人件費 ②		1,381	1,792	1,447	1,482	委託料 431,592,000 円						
総事業費（①＋②）		538,059	564,426	538,767	584,732	使用料及び賃借料 11,026,300 円						
建設事業		全体事業費（単位：千円）		0		7年度特定財源名称		負担金、補助及び交付金 66,100 円				
	7年度までの累積事業費		0		中央生涯学習センター使用料 総合文化センター駐車場使用料 行政財産目的外使用料 ホール使用料							
	9年度以降の事業費見込		0									

会計名			施設改修事業				担当部	教育部		
一般会計							担当課	生涯学習課		
款	項	目					担当係	施設係		
10	5	12								
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	教育文化							
		基本施策	生涯学習・青少年育成							
		施策の内容	学習活動の支援							
	目的	総合文化センターの施設又は設備の老朽化に伴う改修等を行うことで、安全で快適な施設を維持する。				主たる内容	○施設又は設備の改修等			
		位置づけ	関連計画 刈谷市生涯学習推進計画、刈谷市文化振興基本計画、刈谷市公共施設等総合管理計画ほか							
		根拠法令	刈谷市総合文化センター条例、刈谷市民ホール条例、刈谷市生涯学習センター条例ほか							
		対象者	対象者を限定せず				事業期間	～		
	実施方法	■直営 ■委託 □指定管理 □補助・助成 □その他								
	BDO 事業実績 計画 実施 V	5年度実績		6年度実績		7年度実績		8年度計画		
				・長期修繕計画作成業務委託 ・植栽撤去 ・大ホールホワイエ照明器具改修 ・リハーサル室1照明器具改修 ・照明制御システム改修 ・冷却塔ファンモーター改修		・大ホール舞台機構設備制御機器改修 ・大ホール調光設備改修		・冷温水発生機改修		
成果		老朽化対策、社会に求められる機能追加などを目的として施設や設備を改修し、安全で快適な施設を維持することができた。								
課題		施設又は設備の老朽化に伴い、計画的かつ適切に改修を行っていく必要がある。								
指標名称（単位）				実績値		目標値				
				5年度	6年度	7年度	8年度	10年度		
成果指標		大ホール稼働率（％）		84.1	81.8	85.5	88.0	90.0		
成果指標		総合文化センターに対する満足度（％）		97.9	98.5	92.0	98.0	98.0		
他市との比較検証		知立市文化会館 かきつばたホール 1,004席 安城市市民会館 サルビアホール 1,200席 碧南市芸術文化ホール エメラルドホール 452席 岡崎市民会館 あおいホール 1,100席								
C 事業コスト		単位：千円		5年度（決算）	6年度（決算）	7年度（決算）	8年度（予算）	7年度事業費内訳		
	事業費 ①		0	34,924	226,270	7,700	合計	226,270,000 円		
	財源	特定財源	0	0	225,600	0	工事請負費	226,270,000 円		
		一般財源	0	34,924	670	7,700				
	職員人件費 ②		0	2,015	819	1,261				
	総事業費（①＋②）		0	36,939	227,089	8,961				
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0	7年度特定財源名称					
		7年度までの累積事業費		0	公共施設維持保全基金繰入金、施設改修事業債					
9年度以降の事業費見込		0								